

營業所有者馬匹ノ賣買ヲ營業トスル者ヲ謂フニ屬スル分トニ分類シ且左ノ部別ニ依リ綴リ置クヘシ

同 牡五歳以上乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 牡四歳以下乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 牡馬向ノ部

同 用役未定ノ部

同 牝五歳以上乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 牡馬向ノ部

同 牝四歳以下乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 牡馬向ノ部

同 用役未定ノ部

同 牝馬向ノ部

同 用役未定ノ部

市町村長馬匹ノ出入届書ヲ受領シタルトキハ其ノ出ニ屬スル分ト入ニ屬スル分トニ區分ヲ立テ且前項ノ分類及部別ニ依リ綴リ置クヘシ

第四條 市町村長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ヲ調製シ毎年十一月二十五日 北海道ニ在テハ迄 到達ノ期ヲ指

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹調査表ニ依リ其ノ郡内一般ニ涉ル馬匹調査表(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日 北海道ニ在テハ迄ニ徵馬管區馬匹徵發事務

フ以下 内ノ師團長ニ差出スヘシ

第五條 市長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ

第六條 師團長第四條第二項及第五條ノ馬匹調査表ヲ受領シタルトキハ其ノ一通ヲ軍馬補充部本部長ニ送付スヘシ

軍馬補充部本部長ハ各徵馬管區馬匹調査一覽表(第七號書式) 全徵馬管區馬匹調査表(第五號書式) 各師團徵馬管區馬匹調査表(第五號書式)ニ準據テ製シ陸軍大臣ニ進達スヘシ

第七條 町村長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日、七月一日 北海道ニ在テハ一月一日、及五月一日

馬匹調査及檢査施行規則

調ヲ以テ馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ當月十五日 北海道ニ在テハ當月盡日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹出入表ニ依リ其ノ郡内一般ニ涉ル馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日 北海道ニ在テ迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ

第八條 市長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日、及七月一日、北海道ニ在テハ一月

調ヲ以テ馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日 北海道ニ在テハ翌月二十日迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ

第九條 市町村長馬匹出入表ノ調製ヲ了ルトキハ其ノ都度第三條第一項ノ届書綴及第

二項ノ入届書綴中ヨリ其ノ出ニ屬シタル馬匹ノ届書ヲ訂正若ハ除去シ尙ホ入届書ニ殘餘アルトキハ第一項ノ届書綴ニ編入スヘシ

第十條 馬匹検査ハ師團長左ノ委員ヲ設ケテ其ノ徵馬管區内ニ之ヲ行フ

委員長 騎、砲、輕重兵科少佐大尉

委員 騎、砲、輜重兵科士官獸醫部士官

第十一條 馬匹検査場ハ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所在地ヨリ該検査場へ一日間ニ往復シ得ル區域毎ニ一箇所トシ郡市長ノ下調ニ依リ師團長之レヲ定ム但一所ニ多數ノ馬匹

ヲ置ク者アルトキハ別ニ其ノ馬匹ノ所在地ヲ以テ検査場ニ充ツルコトヲ得

第十二條 師團長馬匹ノ検査ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ時期馬匹ノ區別一日間ノ

検査馬數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ

第十三條 郡市長第十二條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹調査表若クハ最近馬匹出入表ニ

依リ馬匹下調表(第七號書式)ヲ調製シ師團長ニ差出スヘシ

第十四條 師團長ハ馬匹検査ノ計畫既ニ成ルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ行フヘキ

馬匹ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ市町村ノ日割日々検査ヲ行フヘキ馬匹ノ概

數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ

第十五條 郡長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ受クヘキ馬匹

ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ町村ノ日割日々検査ヲ受クヘキ馬匹ノ概數其ノ

他必要ノ事項ヲ町村長ニ達スヘシ

町村長前項ノ達ヲ受ケタルトキハ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ管理

人ヲ調ヘ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ日割ヲ定メ馬匹検査場ノ位置其ノ他必要

ノ事項ト共ニ該所有者若ハ總代人又ハ管理人ニ通知スヘシ

町村長前項ノ通知ヲ爲シタル後新ニ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ代理人トナリタル者アルトキハ其ノ都度同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 市長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ第十五條第二項第三項ト同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 市長ハ第十四條町村長ハ第十五條第一項ノ達ヲ受ケタル當日調ヲ以テ出場馬匹名簿(第八號書式)ヲ調製シ爾後馬匹検査當日迄ノ間ニ於テ検査ヲ受クヘキ馬匹ニ出入アルトキハ其ノ都度該名簿ヲ訂正シ馬匹検査ノ際馬匹検査委員ニ差出スヘシ
第十八條 馬匹ノ所有者第十五條第二項第三項若ハ第十六條ノ通知ヲ受ケタルトキハ該通知ニ應シ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘシ

第十九條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ疾病傷痕分娩其ノ他正當ノ理由ニ依テ検査ニ出場セシムルコト能ハサルトキハ獸醫ノ診斷書若ハ戸主二名ノ證明書ヲ添ヘテ其ノ旨ヲ現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

第二十條 馬匹検査委員ハ出場馬匹名簿ニ依リ検査ヲ行フヘシ

第二十一條 郡市町村吏員北海道ニ在テハ 郡吏員ヲ除クハ馬匹ノ検査ニ立會フヘシ

第二十二條 馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律第四條ノ手當及旅費ハ左ノ支給方ニ依ル

- 一 手當ハ馬匹一頭ニ付拾錢ヲ給ス
- 一 旅費ハ馬匹一頭ニ付一里毎ニ貳錢五厘ヲ給ス但往復里程ハ通算シ一里未滿ノ端數ハ給セス

第二十三條 馬匹ノ所有者其ノ馬匹ヲ現住市町村外ニ置クトキハ該馬匹所在ノ市町村毎ニ該市町村内ノ現住者中ヨリ該馬匹ノ管理人ヲ設クヘシ但馬匹所在地ニシテ二箇以上ノ市町村ニ跨ルトキハ該馬匹ノ管理人ハ該市町村内ノ現住者一人トシ又馬匹所在地ニシテ該馬匹ノ所有者現住ノ市町村ト他ノ市町村トニ跨ルトキ若ハ本規則未行地ナルトキハ管理人ヲ設クルヲ要セス

馬匹ノ所有者ハ其ノ馬匹ノ管理人ヲ設ケ若ハ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ都度十日北海道ニ在テハ二十日以内ニ該管理人ノ住所氏名ヲ記シ其ノ旨ヲ該管理人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

馬匹ノ管理人ハ其ノ管理スル馬匹ニ就テハ該馬匹ノ所有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十四條 馬匹ノ共有者ハ該共有者中ヨリ一人ノ總代人ヲ設ケ該總代人ノ住所氏名ヲ記シ一同連署ノ上十日北海道ニ在テハ二十日以內ニ該總代人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ其ノ總代人ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項ノ總代人ハ前項ノ各共有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條第二十三條第一項第二項ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十五條 馬匹ノ所有者第一條第二條第二十三條第二項第二十四條第一項ノ届出ヲ怠リタルトキ第二十四條第一項ノ總代人ヲ設ケサルトキ第十八條第二十三條第一項ニ違犯シタルトキ第十九條ノ届出ヲ怠リ若ハ詐偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
前項ノ罰則ハ馬匹管理人又ハ總代人ニ於テ處辨スヘキ事項ニ在テハ其管理人又ハ總代人ニ適用スルモノトス

附 則

第二十六條 本規則中市トアルハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區ニ該當ス

第二十七條 本規則中市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ旅行セサル地方ニ在テハ戶長及之ニ準スヘキモノ之ヲ行フ

第二十八條 臺灣沖繩縣北海道所屬ノ島嶼其ノ他町村制ヲ施行セサル島嶼(對馬ヲ除ク)ニハ當分本規則ヲ施行セス但該地方ノ現住者中其ノ所有ノ馬匹ヲ本規則施行地ニ置ク者其ノ馬匹ニ關シテハ此ノ限ニアラス

第一號書式 (用紙半紙)

馬匹現在届

- 一 性
 - 一 年齢
 - 一 用役
 - 一 體尺
 - 一 毛色
- 右現在候也

現住所

年月日

馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏 名 印

市町村長宛

注意

- 一 此ノ届書ハ馬匹一頭毎ニ調製スルモノトス但多數ノ馬匹ヲ所有若ハ管理
スル者ノ届書ハ第二號書式ニ據ルコトヲ得
- 二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ
- 三 用役ノ處ニハ乘馬ニ適スヘキカ輓馬ニ適スヘキカ又ハ駄馬ニ適スヘキカ
其ノ見込ヲ定メテ「乘馬向」又ハ「輓馬向」又ハ「駄馬向」ト記載スヘシ但四歲以
下ノ馬匹中其ノ見込ヲ定メ難キ幼齡ノモノニ限リ「用役未定」ト記載スヘ
シ
- 四 體尺ハ肩ノ最モ高キ處ヨリ地面ヘ垂直ニ測シタルモノヲ記載スヘシ
- 五 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノノ届書ニハ氏名ノ上ヲ
「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト

記載スヘシ

第二號書式 (用紙半紙罫紙)

馬匹現在届

一性

一五歲以上(四歲以下)

一用役

右何頭現在候也

内譯

年	齡	體	尺	毛	色

現住所

年月日 馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏 名 印

市町村長宛

注意

- 一 性、用役、體尺ノ記載方ハ第一號書式ニ同シ
- 二 多數ノ馬匹ヲ所有者ハ管理スル者ノ届書ハ此書式ニ據ルコトヲ得但牡馬ノ分ト牝馬ノ分トニ別チ五歲以上ノモノニ在テハ「乘馬向」「鞍馬向」「駄馬向」每ニ各一通宛、四歲以下ノモノニ在テハ「乘馬向」「鞍馬向」「駄馬向」[用役未定]每ニ各一通宛調製スルモノトス
- 三 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスル者ノ届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業者所有者ノ總代人」又ハ「營業者所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第三號書式 (用紙半紙)

馬匹出届

- 一 性
- 一 年齢
- 一 用役
- 一 體尺
- 一 毛色

右何市町村何誰(讓渡)(死亡)(撲殺)(屠殺)(失踪)(飼養所ヲ何市町村へ轉シ)(徵發免除ノ資格ヲ得)候也

現住所

年月日 馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏 名 印

市町村長宛

注意 一 此ノ届書ハ馬匹二頭毎ニ調製スルモノトス

馬匹調査及検査施行規則

二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ
三 年齢、用役及體尺ハ前回差出シタル現在届若ハ入届ニ記載シタルモノヲ記載スヘシ

四 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノノ届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第四號書式 (用紙半紙)

馬匹入届

- 一 性
- 一 年齢
- 一 用役
- 一 體尺
- 一 毛色

右何市何町何村何番ヨリ讓受(出生)(踪跡發見)(飼養所ヲ現住市町村へ轉シ)(徵發免

除ノ資格ヲ失ヒ)候也

現住所

年月日

馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏

名 ㊦

市町村長宛

注意

- 一 此届書ハ馬匹一頭毎ニ調製スルモノトス
- 二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ
- 三 用役ノ處ニハ乘馬ニ適スヘキカ鞍馬ニ適スヘキカ又ハ駄馬ニ適スヘキカ其ノ見込ヲ定メテ「乘馬向」「鞍馬向」又ハ「駄馬向」ト記載スヘシ但シ四歳以下ノ馬匹中其ノ見込ヲ定メ難キ幼齡ノモノニ限リ「用役未定」ト記載スヘシ
- 四 體尺ハ肩ノ最モ高キ處ヨリ地面へ垂直ニ測リタルモノヲ記載スヘシ
- 五 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノノ届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト

考備	四								
	一	二	三	四	五	六	七	八	九
計	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸
	五尺以上								
<p>注意</p> <p>一 此ノ表ハ各郡市町村毎ニ調製スルモノトス</p> <p>二 體尺ヲ記入スルニ方リ寸未滿ハ四捨五入スヘシ</p> <p>三 既往ノ區畫ニハ三月一日 北海道ニ在テ 調ニ在テハ馬匹調査表ノ馬數ヲ記入シ七月一日以後 北海道ニ在テ 調ニ在テハ前回ノ馬匹出入表中ノ現在馬數ヲ記入スヘシ</p>									

第七號書式 (用紙美濃紙)

七 營業所有者ノ馬匹ハ各區畫内へ朱ニテ左側ニ記入スヘシ

六 四歳以下ノ部ヲ調製スルトキハ「駄馬向」ノ下ニ「用役未定」ノ區畫ヲ増設スヘシ

五 現在ノ區畫ニハ既往ト入トノ合計ヨリ出ノ馬數ヲ減シタル殘數ヲ記入スヘシ

四 入ノ區畫ニハ既往四箇月間ニ入届アリタル馬數出ノ區畫ニハ既往四箇月間ニ出届アリタル馬數ヲ記入スヘシ

月日調年 馬匹検査下調表

北海道府縣 郡市長 氏 名

甲	検査場日次	検査場へノ距離	検査ヲ受クヘキ馬數	検査ヲ受クヘキ總馬數	検査場間ノ距離
	第一日				乙村へ何里何町 丙町へ何里何町 丁村へ何里何町

馬匹調査及検査施行規則

明治四年七月十九日勅令第七十號
陸海軍將校分限令ヲ以テ
本令中テ
海軍將校分限令ニ關シ
令ルニ件
スルニ廢シ
別ニ海軍將校分限令ニ依リ
軍將ニ分限令ヲ定ムル
セラレタル

朕陸海軍將校分限令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第九十一號 明治二十一年十二月二十四日

陸海軍將校分限令

第一條 將校ハ終身其官ヲ保有シ其制服ヲ着シ其官ニ對スル禮遇ヲ享ク之ヲ將校ノ分限トス

第二條 將校ハ左ニ掲クル事項ノ一ニ因ルニ非レハ其分限ヲ失フコトナシ

第一 本人ノ請願ヲ許容シ其官ヲ免セラレタルトキ

第二 日本人タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

第三 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四 劊官ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第五 禁錮ニ處セラレ其ノ官ヲ失ヒタルトキ

第六 武官タルノ本分ニ背キ勅裁ニ依リ免官トナリタルトキ

第三條 將校ノ位置ヲ分ツコト左ノ如シ

第一 現役

陸海軍將校分限令

第二 豫備

第三 後備

第四 退役

第四條 現役トハ現ニ軍務ヲ奉スル者修學ヲ命セラレタル者及陸海軍將官各其部内ノ文官ニ任セラレタル者ヲ云フ休職及停職ニ在ル者ハ現役ニ準ス休職トハ左ニ掲クル事項ノ一ニ因リ職務ナキ者ヲ云フ

一 解隊

二 廢職

三 定員改正

四 滿期解任

五 俘虜トナリタル者歸朝シ他員已ニ代リテ其職ニ在ルトキ

六 特別ノ職務ヲ終ヘ又ハ修學滿期ニシテ就職ノ命ナキトキ

七 傷痍若クハ疾病六箇月ニ至リ尙快復シ候ナキトキ但シ本人ノ請願或ハ職務ニ因リ代員ヲ必要トスルトキハ六箇月ヲ待ツノ限ニアラス

八 本人ノ請願ニ依リ修學ヲ許容シタルトキ

九 陸海軍上長官士官各其部内ノ文官ニ專任シタルトキ

停職トハ其行爲懲戒スヘキコトアリ其情狀稍輕ク在職又ハ就職ヲ停メラルル者ヲ云フ但停職者ハ一箇年ノ後ニ非レハ就職スルコトヲ得ス

第五條 豫備トハ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ヲ云フ

第一 旨ヲ諭サレ現役ヲ退キタルトキ

第二 休職ニ入り五年ニ至リ就職セサルトキ但第四條第二項ノ第八第九ニ該ル者ハ此限ニアラス

第三 停職ニ入り二年ニ至リ就職セサルトキ

第四 陸軍各部外ノ文官ニ專任シタルトキ

第五 貴族院令第四條ニ依リ貴族院議員ト爲リタルトキ

第六 一年志願兵ヨリ士官ニ任セラレタルトキ

第七 豫備准士官下士ニシテ士官ニ任セラレタルトキ

第六條 後備トハ左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ヲ云フ

陸海軍將校分限令

第一 年齡滿限ニ至リ現役ヲ退キタルトキ

第二 豫後滿期ニ至リタルトキ

第三 後備准士官下士ニシテ士官ニ任セラレタルトキ

第七條 退役トハ後備滿期ニ至リタル者又ハ傷痍疾病ノ爲メ永久服役ニ堪ヘスシテ現役又ハ豫備又ハ後備ヲ退キタル者ヲ云フ

第八條 豫備後備者ハ召集ニ應スヘキモノトス

豫備後備ノ服役年期ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 本令ハ將校相當官ニ適用ス

附 則

第十條 陸軍將校免黜條例將官退職令及海軍將校准將校免黜條例ハ廢止ス

第十一條 陸軍將校免黜條例及海軍將校准將校免黜條例ニ依リ特命若クハ非職タリシ者ノ位置ハ左ノ通之ヲ定ムヘシ

一 待命ノ者ハ休職トス但陸軍將官ニシテ現ニ陸軍部外ノ文官ニ專任ノ者ハ豫備トス

二 非職ノ者ハ休職トシ其停職解職ニ因テ非職タリシ者ハ停職トシ其年數ハ各非

職タリシ當日ヨリ起算ス但定期ノ年數ヲ越エタル者ハ豫備トス

三 海軍將校ニシテ現ニ海軍部外ノ文官ニ專任ノ者ハ豫備トス

第十二條 海軍將校ニシテ年齡滿限ニ依リテ退職罷役ノ者ハ後備トス

法律第百四號 明治三十二年七月十四日

軍機保護法

第一條 軍机上秘密ノ事項又ハ圖書物件タルコトヲ知テ之ヲ探知集收シタル者ハ重懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二條 職務ニ因リ軍机上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其秘密タルコトヲ知テ之ヲ他人ニ漏洩交付シ若クハ之ヲ公示シタルトキハ有期徒刑ニ處ス

第三條 偶然ノ原由ニ依リ軍机上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其秘密タルコトヲ知テ之ヲ他人ニ傳説交付シ若クハ之ヲ公示シタルトキハ輕懲役ニ處ス

第四條 許可ヲ得スシテ軍港要港防禦港又ハ砲壘砲臺水雷衛所其他軍防ノ爲メ建設シタル諸般ノ防禦營造物ヲ測量模寫撮影シ又ハ其狀況ヲ錄取シタル者ハ一月已上三年已下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓已上三百圓已下ノ罰金ニ處ス

因テ第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ重キニ從フテ處斷ス

第五條 許可ヲ得ス又ハ詐欺ノ所爲ニ依リ許可ヲ得テ砲壘砲臺水雷衛所其他國防ノ爲メ建設シタル諸般ノ防禦營造物内ニ入りタル者亦前條ノ例ニ全シ

法律第一百四號 明治三十二年七月十四日

軍機保護法

第一條 軍事上秘密ノ事項又ハ圖書物件タルコトヲ知テ之ヲ探知集收シタル者ハ重懲
役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二條 職務ニ因リ軍事上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其秘密タルコ
トヲ知テ之ヲ他人ニ漏洩交付シ若クハ之ヲ公示シタルトキハ有期徒刑ニ處ス

第三條 偶然ノ原由ニ依リ軍事上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其秘密
タルコトヲ知テ之ヲ他人ニ傳説交付シ若クハ之ヲ公示シタルトキハ輕懲役ニ處ス

第四條 許可ヲ得スシテ軍港要港防禦港又ハ砲壘砲臺水雷衛所其他軍防ノ爲メ建設シ
タル諸般ノ防禦營造物ヲ測量模寫撮影シ又ハ其狀況ヲ錄取シタル者ハ一月已上三年
已下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓已上三百圓已下ノ罰金ニ處ス

因テ第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ重キニ從フテ處斷ス

第五條 許可ヲ得ス又ハ詐欺ノ所爲ニ依リ許可ヲ得テ砲壘砲臺水雷衛所其他國防ノ爲
メ建設シタル諸般ノ防禦營造物内ニ入りタル者亦前條ノ例ニ全シ

第六條 本法ニ規定シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

前二條ノ罪ヲ犯サントシテ其準備ヲナシタル者ハ同條ノ刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第七條 本法ノ罪ヲ犯シ因テ財物ヲ得タル者ハ其財物ヲ沒收シ既ニ費消シタルトキハ其償額ヲ追徵ス

第八條 本法ハ刑法第二編第二章第二節外患ニ關スル罪陸軍刑法第二編第一章反亂ノ罪海軍刑法第二編第一章反亂ノ罪ニ關スル規定ノ効力ヲ妨ケス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル要塞地帶法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
法律第百五號 明治三十二年七月十四日

第一章 要塞地帶法

第一節 總則

第一條 要塞地帶トハ國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ノ周圍ノ區域ヲ云フ

第二條 要塞地帶ノ幅員ハ防禦營造物ノ各突出部ヲ連結スル線ヲ基線トシ此ノ線ヨリ

外方ニ定メ距離以內ニ於テ之ヲ定ム

第三條 要塞地帶ハ陸地ト海面トヲ間ハス之ヲ三區ニ分テ各區ノ幅員ハ左ノ區別ニ從

ヒ陸軍大臣之ヲ定メ並之ヲ告示ス其ノ之ヲ變更スル場合亦同シ但シ陸軍防禦營造物

ノ地帶及第七條第二項ノ區域カ海軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域ト相關

聯スル或ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合並陸軍用地カ海軍防禦營造物ノ地帶

及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テハ陸軍大臣海軍大臣協議ノ上之ヲ定

メ連署シテ告示ヲ爲スコトヲ要ス

第二區 基線ヨリ測リ二百五十間以內及基線ト防禦營造物間ノ區域

要塞地帶法

第二區 基線ヨリ測リ七百五十間以内

第三區 基線ヨリ測リ二千二百五十間以内

第四條 要塞司令官鎮守府司令長官要港部司令官及築城部本部長ハ要塞地帯ヲ劃スル爲其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ部下官僚ヲシテ要塞地帯内及第七條第二項ノ區域内何レノ地ヲ問ハス出入セシムルコトヲ得但シ陸海軍用地内ニ出入セシメントスルトキハ互ニ當該官廳ノ承認ヲ經ヘシ

第五條 陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ニ關聯セサル海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域内ニ關シテハ此ノ法律ニ規定スル陸軍大臣ノ職務ハ海軍大臣之ヲ行ヒ要塞司令官ノ職務ハ鎮守府司令長官要港部司令官之ヲ行フ

第六條 此ノ法律ハ防禦營造物ノ設ナシト雖之ヲ設クルコトニ決定シタル箇所ニ於テ其ノ豫定防禦營造物ノ各突出部ヲ連結スル線ヲ基線トシ第二條第三條及第七條第二項ニ定メタル區域ニ付テ亦之ヲ適用ス但シ基線以内ノ區域ハ第一區ニ準ス

第二章 禁止及制限

第七條 何人ト雖要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ要塞地帯内水陸ノ形狀ヲ測量、

撮影、模寫、録取スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ要塞地帯外ト雖第三區ノ境界線ヨリ外方三千五百間以内ノ區域ニ於テ之ヲ適用ス

第八條 要塞司令官ハ要塞地帯内ニ入り兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ヲ要塞地帯外ニ退去セシムルコトヲ得

第九條 要塞地帯ノ第一區ニ屬スル水面ニ在リテハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ漁獵、採藻及艦船ノ繫泊、土砂ノ掘鑿ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 第一區内ニ於テ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 不燃質物ヲ以テ築造セル家屋及倉庫
- 二 窰室及固定竈爐

三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ二尺ヲ超ユル諸般ノ築造物

第十一條 第一區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 埋葬地

- 二 水車及風車
 - 三 井
 - 四 容易ニ他ニ移動スヘカラサル器械器具ヲ備フル家屋
 - 五 生垣及木造ノ圍牆
 - 六 第十條第一號ニ於テ禁セサル家屋及倉庫
- 第十二條 第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコト得サルモノ左ノ如シ
- 一 不燃質物ヲ以テ築造セル家屋及倉庫
 - 二 埋葬地
 - 三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ三尺ヲ超ユル諸般ノ築造物
- 第十三條 第一區第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ屋内ト屋外トヲ問ハス累積スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ
- 一 第一區内ニ於テハ高サ五尺、第二區内ニ於テハ高サ八尺以上ニ累積スル不燃質物及石炭類

- 二 第一區内ニ於テハ高サ一丈三尺、第二區内ニ於テハ高サ一丈七尺以上ニ累積スル薪炭及竹木材
- 第十四條 第一區第二區内ニ於テハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ家屋倉庫及諸般ノ築造物ヲ改築増築スルコトヲ得ス
- 第十五條 各區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ
- 一 地表ノ高低ヲ永久ニ變更スル土工即チ堆土、開鑿等
 - 二 溝渠、鹽田、排水及灌漑
 - 三 公園、育樹場、竹木林、菓園及桑茶畑
 - 四 耕作地
- 第十六條 各區内ニ於テ陸軍大臣ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ
- 堤塘、運河、道路、橋梁、鐵道、隧道、永久棧橋
- 第十七條 本章ノ禁止制限ニ違背シ新設改築増築變更シタル家屋倉庫其ノ他ノ築造物

又ハ累積物等ハ違背者ヲシテ期限ヲ定メテ之ヲ除去セシメ地形ヲ變更ニ係ルモノハ之ヲ復舊セシメ期限内ニ除去復舊セサルトキ若ハ其ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ方法宜シキヲ得サルトキハ官廳ニ於テ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得
前項義務者ニ於テ負擔スヘキ費用ヲ國稅ノ滯納處分ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得但シ政府ハ國稅ヲ次キ先取權ヲ有ス

本條ノ處分ハ第十六條ノ違背者ニ就テハ陸軍大臣之ヲ爲シ其ノ他ノ違背者ニ就テハ要塞司令官之ヲ爲スヘシ

第十八條 土地帶ノ禁止制限ニ關シ官廳ノ處分ニ服セサル者ハ其ノ處分ニ就テノ告示又ハ通達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ陸軍大臣ニ訴願スルコトヲ得但訴願中處分ノ執行ヲ妨ケス

第十九條 陸軍大臣ハ場合ニ依リ或區域内ニ限り特ニ本章禁止制限ノ全部若ハ一部ヲ解除スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ解除ノ事項及其ノ區域ヲ告示ス之ヲ變更スルトモ亦同シ

第二十條 本章ノ禁止及制限ハ陸海軍又ハ陸海軍官廳ノ行動又ハ施設ニ對シテハ之ヲ適用ス但陸軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域ニシテ海軍防禦營造物ノ地帶及第七條第三項ノ區域ト相關聯スル場合若ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合並ニ陸軍用地カ海軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テ當該陸軍官廳若ハ海軍官廳カ此ノ法律ニ掲クル許可又ハ承認ヲ爲シ若ハ第十九條ノ處分ヲ爲サントスルトキハ陸軍官廳ハ當該海軍官廳ニ海軍官廳ハ當該陸軍官廳ニ協議スルコトヲ要ス

第二十一條 陸海軍以外ノ官廳ニ於テ第七條第九條第十條乃至第十五條ニ掲クル事項ヲ爲サントスルトキハ要塞司令官ノ承認第十六條ニ掲クル事項ヲ爲サントスルトキハ陸軍大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第三章 罰則

第二十二條 第七條及第九條ノ禁ヲ犯シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮又ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス第八條ニ依リ要塞司令官ニ退去ヲ命セラレ其ノ命ニ從ハサル者亦同シ

第二十三條 第七條及第九條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二十四條 第十條乃至第十三條第十五條及第十六條ニ違犯シタル者ハ二圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 第十四條ニ違犯シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十六條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル爲ニ設ケタル標石、標木、標札ノ類ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ過失ニ出テタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第四章 雜則

第二十七條 要塞地帯創設告示ノ當時家屋倉庫築造物等ノ新設、變更、改築、増築中ニ係ルモノハ此ノ法律ノ禁止制限ヲ適用セス

第二十八條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル標石、標木若ハ標札ノ類ヲ建設スル爲ニ要スル敷地ノ買収及使用ニ關シテハ明治二十三年法律第二十三號陸

地測量標條例ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 此ノ法律ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第三十條 此ノ法律ハ軍港規則及要港規則ノ効力ヲ妨クルコトナシ

第三十一條 明治三十一年勅令第七十六號ハ此ノ法律ニ依リ第三條又ハ第六條ノ告示ヲ爲シタル箇所ニ限り其ノ効力ヲ失フ

朕陸軍給與令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
勅令第二百二十二號 明治三十二年六月六日

陸軍給與令

第一章 總則

第一條 陸軍軍人各部各隊及特ニ本令ニ規定シタル軍屬ニ係ル給與ハ本令ニ依ル

第二條 本令ニ於テ名稱ヲ區別スルコト左ノ如シ

- 一 軍隊ト稱スルハ歩兵、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵ノ各隊及警備隊ヲ謂フ
 - 二 下士卒ト稱スルハ各兵科其ノ他ノ下士卒卒及看護手、樂手補、喇叭卒、諸工ヲ謂フ
 - 三 諸生徒ト稱スルハ生徒及士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏、依託學生、依託生徒下士候補生學生ヲ除クヲ謂フ
 - 四 下士以下ト稱スルハ本條第二第三ニ掲クルモノヲ謂フ
 - 五 營内居住ト稱スルハ屯營及學校内ニ居住スルヲ謂フ
- 第三條 (削除)

第二章 俸給

第四條 俸給ヲ分テ左ノ三種トス

一 俸給 准士官以上ニ給スルモノ

二 給料 下士兵卒ニ給スルモノ

三 手當金 諸生徒ニ給スルモノ

第五條 准士官以上現役中ノ者ノ俸給ハ第一表ニ依ル但シ停職中ハ其ノ半額ヲ給ス

第六條 准士官以上在職ノ者ニハ第二表ノ職務俸ヲ加給ス其ノ區別ハ陸軍大臣之ヲ定

ム但シ親補職ニ在ル中將ハ大將ノ年額ヲ給シ外國留學ヲ許サレタル者ニハ職務俸ヲ給セス

第七條 現役下士兵卒ノ給料ハ第三表甲諸生徒手當金ハ第四表ニ依ル

第八條 下士兵卒ニシテ左ノ事故ニ當ル者ニハ前條給料ノ外加俸ヲ給ス其ノ定額第一

號ニ當ルトキハ第五表ニ第二號乃至第七號ニ當ルトキハ第六表ニ依ル

一 營外居住ノ者ニハ外宿加俸ヲ給ス

二 下士ニシテ現役中四箇年、六箇年若ハ八箇年ヲ經過シ營内居住ノ者ニハ年功加

俸ヲ給ス

三 憲兵下士、上等兵ニハ憲兵加俸ヲ給ス

四 警備隊下士、兵卒ニシテ外泊ヲ許シタル者ニハ外泊加俸ヲ給シ二箇年以上在隊ノ下士、上等兵、看護手ニハ在隊加俸ヲ給ス但シ年功加俸ヲ給スルトキハ在隊加俸ヲ給セス

五 營内居住タル諸學校附下士ニハ學校附加俸ヲ給ス

六 一、二、三等諸工長、下士ニシテ火工掛ヲ命セラレタル者、樂手、樂手補、縫工、靴工ニハ技術加俸ヲ給ス

七 憲兵下士、上等兵ニシテ通譯ヲ命セラレタル者ニハ通譯加俸ヲ給ス

第九條 俸給ハ毎月下旬之ヲ給ス但シ營内居住ノ下士以下ハ毎旬之ヲ給ス

第十條 藥劑官、獸醫官、一等軍吏、樂長及上等工長ニシテ多年勤勞成績顯著ナル者ニハ陸軍大臣之ニ第七表ノ特別俸ヲ加給スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ第六條ノ職務俸ヲ給セス

第十一條 一等給、二等給、三等給及下士特別給ヲ給セラルル者ノ定員並技術加俸、通

譯加俸ノ支給區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十二條 上級ノ職務心得勤ヲ命セラレタル者ニハ第二表職務俸ノ外上級官等ノ職務俸十分ノ二ヲ加給ス但シ上級ノ職務俸ニ一二等給アルモノハ其ノ二等給ニ依ル

第十三條 (削除)

第十四條 陸軍部内ニ於ケル兼職又ハ武官ニシテ文官ニ任セラレタル者ニハ俸給ノ多額ニ就キ之ヲ給ス

武官宅料ハ之ヲ武官俸給ニ合算ス

第十五條 休職、停職、豫備役、後備役、退役ト爲リタル者ニハ事務引渡中在職又ハ現役ニ準シ俸給ヲ給ス

第十六條 豫備役、後備役ノ准士官以上召集中ハ在職ニ準シ俸給ヲ給ス但シ俸給ニ一、二等アルトキハ二等給ニ依ル

豫備役、後備役下士、兵卒及補充兵召集中ノ給料ハ第三表乙ニ依ル但シ戰時若ハ事變ノ爲メ召集セラレタル者及平時部隊ノ職務ニ就キタル者ニ對シテハ現役ノ例ニ依ル

第十七條 准士官以上及下士以下請願休暇病氣引籠拘禁留置中又ハ擅ニ戰役屯營本隊

ヲ離レ又ハ地方ニ赴キ故ナク歸著ノ期ニ後レタルトキハ俸給ヲ減却シ又ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

軍屬ニシテ判任以上ノ者請願休暇病氣引籠ヲ除ク外前項ノ場合ニ於テハ軍人ニ準ス

第三章 宅料

第十八條 宅料ハ在職准士官以上及營外居住ノ現役下士兵卒ニ給ス其ノ月額ハ第八表ニ依ル營内居住ノ下士諸學校ニ入學中外宿セシムルトキ亦同シ

前項宅料ハ毎月下旬之ヲ給ス

豫備役、後備役下士以上ニシテ平時部隊ノ職務ニ就キタル者ノ宅料ハ前二項ニ準ス
休職停職豫備役後備役退役ト爲リタル者ニハ事務引渡中在職又ハ現役ニ準シ宅料ヲ給ス

第十九條 武官ニシテ文官ニ任セラレ文官ノ俸給ヲ受クル者官舎ニ居住スル者及赴任旅行中ノ者ニハ宅料ヲ給セス

第二十條 擅ニ職役屯營本隊ヲ離レ又ハ故ナク歸著ノ期ニ後レタルトキ及禁錮中ハ宅料ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十一條 糧食ハ准士官以上及營外居住ノ下士以下ニ在テハ自辨トシ營内居住ノ下士以下及糧食自辨ノ者ニシテ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ病院ニ入ル者竝營内居住ノ下士以下現役ヲ離レ又ハ召集解除ノ際疾病其ノ他ノ事故ニ因リ歸郷セシメ難キ者ニ在テハ官給トス其ノ定額ハ第九表ニ依ル但シ幼年學校生徒中半官費生及同半特待生ニハ精米ヲ官給シ賄料ヲ自辨セシム

士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏、豫備役後備役見習士官、豫備役後備役見習醫官、豫備役後備役見習藥劑官、豫備役見習獸醫官、豫備役見習軍吏、幼年學校官費生徒、同特待生、獸醫學校生徒、明治三十一年以前 召募ノ生徒ニ限ルニハ増賄料ヲ給ス其ノ定額ハ第九表ニ依ル

第二十二條 軍隊ノ糧食ハ營内居住ノ下士以下現人員ニ應シ定額ヲ交付ス

第二十三條 營内居住ノ下士諸學校ニ入學シ外泊ヲ命セラレタルトキ竝准士官以上及營外居住ノ下士以下及軍屬傳染病流行ノ際病院ニ詰切ヲ命セラレ且交通ヲ遮斷セラレタルトキハ食料ヲ給ス其ノ定額ハ第九表ニ依ル

第二十四條 准士官以上及下士以下演習中露營若ハ夜間作業又ハ夜中行軍スルトキ及憲兵下士上等兵夜中巡邏スルトキ其ノ他下士兵卒不寢番ヲ爲ストキハ夜食料ヲ給ス其ノ定額ハ第九表ニ依ル軍屬竝馬丁亦之ニ準ス

第二十五條 准士官以上下士以下野外演習中自炊ヲ爲ストキ若ハ演習召集ノ際屯營内ニ詰切ヲ命セラレタルトキ又ハ衛戍分遣隊服務中ハ糧食ヲ給ス其ノ定額ハ第九表ニ依ル軍屬馬丁亦之ニ準ス

諸隊連合野外演習中自炊ノトキ各隊糧食ノ定額異ナルトキハ其ノ多額ニ從テ之ヲ給スルコトヲ得

陸軍糧餉部ノ貯藏ニ係ル出師準備用ノ糧食品ハ新陳交換ノ爲平時軍隊ノ定額賄料ニ換ヘテ之ヲ給スルコトヲ得其數額ハ第十表ニ依ル

前項ノ場合ニ在テハ薪代其ノ他ノ諸費トシテ補助賄料ヲ給ス其ノ定額ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十六條 拘禁、留置、懲罰中ノ者ニハ糧食 憲兵隊ノ留置場ニ在テハ食料 ヲ給ス其ノ定額ハ第十一表ニ依ル

第二十七條 諸學校及病院ニ在テハ第二十一條第二十四條第二十五條及第二十六條ノ給與ハ現人員ニ應シ定額ヲ交付シ校長若ハ院長ニ其ノ經理ヲ委任ス

第二十八條 未決監已決監ニ入監中ノ者ノ糧食ハ現人員ニ應シ定額ヲ交付シ監獄長ニ其ノ經理ヲ委任ス但シ監獄ニ於テ營倉處分執行中ノ者ノ糧食亦同シ

第二十八條ノ二 委任經理ニ屬スル糧米賄料ハ一箇月以内ノ數額ニ依リ概算渡ヲ爲スコトヲ得

第五章 被服

第二十九條 被服ハ准士官以上及營外居住ノ下士ニ在テハ自辨トシ營内居住下士以下及營外居住ノ兵卒ニ在リテハ官給トス

第三十條 士官及准士官ニハ初任ノトキ服裝手當ヲ給ス

士官初メテ乘馬本分ノ職ニ就クトキ又ハ乘馬本分タル上長官ノ職務心得勤ヲ命セラレタルトキハ馬裝手當ヲ給ス

各兵科士官轉科スルトキハ轉科服裝手當ヲ給ス

服裝、馬裝及轉科服裝手當ノ定額ハ第十二表ニ依ル

營内居住ノ下士營外居住ニ轉スルトキハ被服一揃ヲ給ス

第三十一條 營内居住ノ下士以下士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏ヲ除ク其ノ數額ハ第十三表及第十四表ニ依ル但シ定員増加ノトキハ初度第十五表ノ數額ヲ給ス

給ス

第三十二條 憲兵上等兵ノ被服ハ現品ヲ以テ給シ樂手補ノ被服ハ現品ト代金トニ分チ之ヲ給ス又喇叭卒ノ被服ハ代金ヲ以テ給ス其ノ員數ハ第十三表其ノ定額ハ第十六表ニ依ル但シ定員増加ノ場合ニ在リテハ前條但書ニ同シ

士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏ニハ被服料ヲ給シ召集中ノ豫備役、後備役下士以下及第一補充兵並六週間現役兵ニハ被服保續料ヲ給ス其ノ定額ハ第十七表ニ依ル

第三十三條 軍隊、諸學校並病院、病室ニハ所要ノ被服ヲ備附ク其ノ員數ハ第十八表第十九表及第二十表ニ依ル

第三十四條 第三十一條及第三十二條ノ給與第三十三條ノ備附品ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ交附ス

- 一 軍隊ニ在テ下士兵卒給與ノ現品ハ定員一箇年間歸休セシムル者ヲ除クニ應シ備附品ハ定數ニ依リ地質ト金額トニ分チ之ヲ交附ス
- 二 憲兵隊、軍樂隊、諸學校及病院、病室ニ於ケル下士以下ニ給與スル現品ハ現員ニ應シ備附品ハ定數ニ依リ地質ト金額トニ分チ之ヲ交附ス
- 三 被服代金ノ給與ハ現員ニ應シ定額ヲ各自ニ交附ス
- 四 被服料及被服保續料ノ給與ハ現員ニ應シ定額ヲ軍隊ニ交附ス
- 第三十五條 前條第一第二ニ掲クル地質ノ定尺及金額ハ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第三十六條 營内居住ノ下士以下ニハ被服手入品料トシテ軍隊ニ在テハ下士兵卒ノ定員一箇年間歸休セシムル者及諸學校等ニ入學又ハ分遣ノ者ヲ除クニ應シテ之ヲ交附ス其ノ定額ハ第十七表ニ依ル諸學校ニ在テハ下士兵卒分遣者共及生徒ノ現員ニ應シ被服手入品料ヲ交附シ校長ニ其ノ經理ヲ委任ス
- 第三十七條 下士以下被服ノ所持定數及其ノ還納、附與竝損壞、遺失、投棄品等ノ補償ニ關スル規定ハ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第三十八條 勳員ノ際各部各隊ニ屬スル豫備役後備役下士兵卒竝補充兵所要ノ被服ハ

其ノ定員ニ應シ現品若ハ金額ヲ以テ漸次各師團ニ交附ス

第六章 馬匹

- 第三十九條 士官以上乘馬本分ニシテ現ニ乘馬ヲ飼養スル者ニハ其ノ飼養期間馬糧及繫畜料ヲ給ス其定額ハ第二十一表ニ依ル
- 前項ノ馬糧ハ一箇月以内ノ數量ヲ前渡シ繫畜料ハ毎月下旬之ヲ給ス但シ馬糧ハ代金ヲ以テ繫畜料ト共ニ給スルコトヲ得
- 第四十條 騎兵、砲兵、輜重兵ノ隊馬ニハ馬糧及裝蹄料剔毛料トシテ其ノ現馬數ニ應シ定額ヲ交附ス憲兵隊裝蹄料剔毛料ヲ除ク諸學校騎兵實施學校ニ在テハ亦之ニ準シ定額ヲ交附シ隊長若ハ校長ニ其ノ經理ヲ委任ス其ノ定額ハ第二十一表及第二十二表ニ依ル
- 第四十一條 (削除)
- 第四十二條 騎兵、砲兵、輜重兵ノ各隊及諸學校ニハ裝蹄及剔毛器械ヲ初度現品ニテ備附ケ爾後裝蹄料剔毛料ノ内ヲ以テ之ヲ保續セシム
- 第四十三條 少佐及同相當官ニシテ初テ乘馬本分ノ職ニ就クトキハ馬匹手當ヲ給シ其ノ副馬ヲ要スル職ニ就クトキハ別ニ之ヲ給ス其ノ定額ハ第二十二表ニ依ル

士官ニシテ乘馬本分タル上長官ノ職務心得勤ヲ命セラレタル者ハ前項ニ準ス

第四十四條 乘馬本分タル士官ノ乘馬ハ初度馬匹購買料ヲ給シ爾後ハ馬匹保續料ヲ給ス其ノ定額ハ第二十二表ニ依ル

前項ノ定額ハ定馬數ニ應シ之ヲ各所管ノ委員ニ交附シ其ノ經理ヲ委任ス但シ定數ナキモノハ現馬數ニ依ル

第四十五條 前條ノ乘馬飼養中ハ馬糧及繫畜料ノ定額ヲ給スト雖モ轉免死亡又ハ諸學校學生トシテ派遣中ハ該馬匹ヲ委員ニ返還セシメ馬糧及繫畜料ノ定額ヲ委員ニ交附シ其ノ經理ヲ委任ス但シ一箇年以内派遣ノ者ニ限り其ノ儘飼養セシムルコトヲ得諸學校附ノ士官ニシテ隊附勤務ノ爲軍隊ニ派遣中ニ在ル者亦前項ニ同シ

第四十六條 (削除)

第四十七條 繫畜料ヲ受クル者軍隊旅行、演習旅行又ハ陣營移轉ノトキハ増飼及増繫畜料ヲ給ス其ノ定額ハ第二十一表ニ依ル但シ増飼ハ代金ヲ以テ支給スルコトヲ得騎兵、砲兵、輜重兵、憲兵ノ隊馬諸學校ノ馬匹前項ノ場合ニ在テハ第二十一表ノ増飼ヲ給スルコトアルヘシ

第四十七條ノ二 委任經理ニ屬スル馬糧ハ一箇月以内ノ數額ニ依リ概算渡ヲ爲スコトヲ得

第七章 消耗品

第四十八條 軍隊ノ消耗品ヲ分テ消耗品料及煖室用薪炭料ノ二種トシ定額ヲ交附ス其ノ定額ハ第二十三表及第二十四表ニ依ル

第四十九條 豫備役、後備役准士官以上及下士兵卒並補充兵召集中ノ消耗品料ハ定額ヲ所屬隊ニ交附ス其ノ定額ハ第二十五表ニ依ル

第五十條 軍隊ニシテ全隊ヲ成ササル間ニ於ケル消耗品料ノ定額ハ第二十五表ニ依ル但シ歩兵砲兵聯隊本部ノ定額ハ第二十三表ニ依ル

第五十一條 第四十九條及第五十條ニ於テ第二十五表ニ依ル消耗品料ハ現人員ニ應シ之ヲ交附ス

第五十二條 煖室用薪炭料ハ煖室器備附ノ現數及焚方期限ニ應シ之ヲ交附ス但シ焚方期限ハ第二十四表ニ依ルト雖モ其定額以内ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第八章 陣營具

第五十三條 軍隊ノ陣營具ハ之ヲ分テ左ノ四種トス

- 一 營中具
- 二 隊中具
- 三 庖厨具
- 四 廄舎具

第五十四條 軍隊ノ陣營具ハ初度現品ヲ備附ケ爾後毎月永續料トシテ定額ヲ交付ス其ノ定額ハ第二十六表ニ依ル

第五十五條 豫備役後備役准士官以上及下士卒並補充兵召集中ノ陣營具永續料ハ定額ヲ其ノ隊ニ交附ス其ノ定額ハ第二十七表ニ依ル

第五十六條 軍隊ニシテ全隊ヲ成ササル間ニ於ケル陣營具永續料ノ定額ハ第二十七表ニ依ル但シ歩兵砲兵聯隊本部ノ定額ハ第二十六表ニ依ル

第五十七條 第五十五條及第五十六條ニ於テ第二十七表ニ依ル陣營具永續料ハ現人員又ハ現馬數ニ應シ之ヲ交付ス

第九章 雜則

第五十八條 營内居住ノ下士以下死亡シタルトキハ埋葬料ヲ給ス其ノ定額ハ第二十八表ニ依ル豫備役後備役下士卒補充兵召集中死亡スルトキ亦同シ

附則

本令第十三表品目中第二種帽、絨衣袴、夏衣袴、外套及各種背囊ニ限リ陸軍大臣ニ於テ當分ノ内其ノ保存期限ヲ第二十九表ノ如ク伸縮スルコトヲ得

附則 (追加)

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス (三十三年三月勅令第三百三十一號ニテ改正ニ屬スル附則トス)

本令ハ明治三十三年六月十六日以降召集ニ應シタル者ニ適用ス (三十三年七月勅令第三百三十二號ニテ改正ニ屬スル附則トス)

第一表 現役俸

官	名	年	額	官	名	年	額
大	將	三	千	少	佐	五	百十六
中	將	二	千	大	尉	三	百
同	相當官		圓	同	相當官		圓

陸軍給與令

第二表 職務俸

官名	年					額
	甲	乙	丙	丁	戊	
少將 相當官	千五百七十五圓		同中	相當官尉	二百二十八圓	
大將 相當官	千五百七十五圓		同少	相當官尉	二百二十八圓	
中將 相當官	二千圓		同大	相當官尉	二百二十八圓	
少將 相當官	二千圓		同中	相當官尉	二百二十八圓	
大佐 相當官	千五百七十五圓		同大	相當官尉	二百二十八圓	
中佐 相當官	千二百三十六圓	千六百六十四圓	同中	相當官尉	二百二十八圓	
少佐 相當官	九百三十六圓	八百六十四圓	同大	相當官尉	二百二十八圓	
大尉 相當官	六百三十六圓	五百六十四圓	同中	相當官尉	二百二十八圓	
少尉 相當官	六百三十六圓		同大	相當官尉	二百二十八圓	
大尉 相當官	一等五百四十圓		同中	相當官尉	二百二十八圓	
少尉 相當官	二百四十圓		同大	相當官尉	二百二十八圓	

備 明治三十二年六月六日現在ノ中尉、同相當官、少尉、同相當官タル者ノ職務俸額本表
ノ給額ト異ナルトキハ其ノ職務ニ在ル間ニ限リ其ノ多額ニ從テ之ヲ給ス但シ憲兵司
考 令部及憲兵隊附中(少)尉ニ限リ職務ヲ轉スルモ尙多額ニ依ル

第三表甲 給料

名	稱	等級	月	額	名	稱	月	額
曹長並相當官	一等諸工長	一	十	十二圓九十錢	上等兵	兵	一	一圓五十錢
		二	十	十一圓四十錢	看護手	兵	一	一圓五十錢
軍曹並相當官	二等諸工長	一	九	九圓	憲兵上等兵	兵	二	二圓六十四錢
		二	八	八圓十錢	樂手	兵	二	二圓六十四錢
二等諸工長	二等諸工長	三	七	七圓二十錢	一等縫工	卒	一	一圓二十錢
		四	六	六圓六十錢	二等靴工	卒	一	一圓二十錢
					二等卒	卒	九	九十錢

陸軍給與令

准	同少	同中	同大	同少	同中	同大	同少	同中	同大
士	相當	相當	相當	相當	相當	相當	相當	相當	相當
官	尉	尉	尉	佐	佐	佐	將	將	將
三	三	四	四	七	八	十	十二	十八	十八
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
二十	五十	五十	七十五	七十五	七十五	七十五	五十	七十五	七十五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
諸	諸	樂	上	諸	諸	諸	諸	諸	諸
工	卒	手	等	工	卒	工	長	長	長
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

第九表 糧食及食料

糧	一人一日ノ額	地方區分	食	一日ノ額區分
精米	九錢九厘	北海道	增賄	二十四錢將
等級	金・額		料	十八錢
甲	九錢九厘		夜食	三錢

食	六合	乙	六錢九厘	東京、橫須賀、國府臺、下志津、習志野、佐倉、山形、高崎	料	十六錢下士以下
		丙	六錢六厘	對馬、長崎、佐世保、弘前、青森、秋田、大阪	增賄	二錢
		丁	六錢	福岡、鹿兒島、鯖江、靜岡、熊本、小倉、大村、新發田、金澤、村松、仙臺、久留米、赤間關、由良、大津、伏見、敦賀	料	三錢
		戊	五錢四厘	廣島、吳、鳴門、深山、忠海、名古屋、豐橋、舞鶴、山口、福知山、姫路、松山、丸龜、善通寺、濱田、高知、鳥取	夜食	三錢

第十表 賄料換用品

備	諸學校地方幼年學ノ賄料ハ乙ノ額ニ依リ各衛戍病院及地方幼年學校ノ賄料ハ各其ノ所在衛戍地ノ額ニ准士依ル	考	官以上及糧食自辨ノ幼年學校生徒ニシテ病院ニ入り糧食ノ官給ヲ受クル場合ニハ其賄料定額ハ各地ノ額ニ増賄料ヲ加ヘタル額トス	
品	詰	目	數	量
罐	干	肉	四	二十
梅	鹽	內一品	三	三
食	油	幾	三	三
醬	油	斯	三	三

第十一表 拘禁者糧食及食料

區分	精米	一人一日ノ額	等級金 地方區分				
			甲	乙	丙	丁	戊
力業ニ服スル者	六	合	五錢七厘	三錢九厘	三錢六厘	三錢三厘	一錢
力業ニ服セサル者	五	合	北海	東京	弘前、大阪	熊本、小倉、金澤、仙臺	廣島、名古屋、姫路、丸龜
懲戒減食ノ者	二	合乃至三合	一	一	一	一	一
重營倉ニ處セラレタル者	五	合	第九表賄料ノ定額ニ依ル				
輕營倉ニ處セラレタル者	五	合	第九表賄料ノ定額ニ依ル				
憲兵隊ノ留置場ニ在ル者	三	十錢以下	第九表賄料ノ定額ニ依ル				
備	各隊ノ營倉ニ留置セラレタル者ハ輕營倉ニ處セラレタル者ノ定額ニ依ル						
考	精米五合ニ對スル端食計算ハ之ヲ三分シ四捨五入勺位ニ止メ一食ノ數額ヲ得						
賞表ヲ有スル囚人ニ増榮ヲ與フル場合ハ一回金一錢ヲ増給ス							

第十二表 服裝手當及馬裝手當

名稱	區分	分	金	額
馬裝	手當	士官	八	十圓
服裝	手當	士官	四	十圓

第十三表 營内下士兵卒及營外兵卒被服

品目	名稱	期限			
		第一區	第二區	第三區	第四區
轉科服裝手當	各兵科ヨリ騎兵科ニ轉スル士官 騎兵科ヨリ監督部ニ轉スル士官 騎兵科ヨリ各兵科ニ轉スル士官 憲兵科ヨリ監督部ニ轉スル士官 憲兵科ト步兵砲兵工兵輜重兵科ト互ニ轉スル士官 步兵、砲兵、工兵、輜重兵科ヨリ 監督部ニ轉スル士官	四	十	五	十圓
第一種帽	憲兵上等兵 各兵各部下士以下 (輪卒看取 卒ヲ除ク)	一年	六箇月	一年	五箇年 (近衛隊各兵トス 卒ハ十箇年トス)
前立	憲兵上等兵 各兵各部下士以下 (輪卒看取 卒ヲ除ク)	七	五箇年	七	五箇年 (近衛隊各兵トス 卒ハ十箇年トス)
第二種帽	各兵各部下士以下	一年	六箇月	一年	四箇月
		一年	六箇月	一年	八箇月
		一年	六箇月	一年	二箇月

陸軍給與令

絨衣袴 共	日 夏衣袴	外 套	雨 覆	略 衣袴	襟 襦袴下	手 套	短 靴	工 兵靴	半 長靴	長 靴
各兵兵卒看護手看護卒縫靴工 助卒輸卒憲兵上等兵樂手補	憲兵上等兵 各兵各部下士以下 (看護卒 ヲ除ク)	各兵各部下士 各兵兵卒看護手看護卒縫靴 工助卒輸卒 憲兵上等兵 樂手補	憲兵上等兵	各兵兵卒看護手看護卒縫靴 工助卒輸卒	各兵各部下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下 (騎兵下士兵 ヲ除ク)	各兵各部下士以下 (工兵科 ヲ除ク)	各兵兵卒 騎兵下士以下 (騎兵科 ヲ除ク)	各兵兵卒 騎兵下士以下 (騎兵科 ヲ除ク)	騎兵下士兵卒 騎兵蹄鐵工長
一組	一組	一箇	一箇	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組
一年十箇月	一箇	四年六箇月	一箇	一年六箇月	一年六箇月	四箇月	五箇月	五箇月	六箇月	六箇月
一年八箇月	一箇	四年六箇月	一箇	一年六箇月	一年六箇月	四箇月	五箇月	五箇月	六箇月	六箇月
二年二箇月	一箇	四年六箇月	一箇	一年六箇月	一年六箇月	四箇月	五箇月	五箇月	六箇月	六箇月
一年六箇月	一箇	四年六箇月	一箇	一年六箇月	一年六箇月	四箇月	五箇月	五箇月	六箇月	六箇月

麻 脚絆	靴 下	拍 車	作 業衣袴	革 前垂	軍 隊手牒	第一種背囊	第二種背囊	第三種背囊	脊 負袋	飯 骨柳網共	飯 盒	水 筒	厚 毛布
各兵下士兵卒 看護手看護卒輸卒 鞍、銃、木、鍛、縫、靴工長縫、 靴工看護長	各兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下	各兵兵卒 騎兵下士以下
一組	一組	一組	一組	一組	一組	一箇	一箇	一箇	一箇	一箇	一箇	一箇	一組
二	一	六	三	二	二	六	六	六	一	二	二	二	一
箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

軍隊手牒	第一種背囊	被洗刷、靴刷、磨	服刷、磨板、燕	手口袋、麻袋、	入塗墨器、櫛、	具、針、絲、	厚毛布(四枚)	包布	蒲團	敷布(二枚)	枕	蚊帳	防	寒	用					
諸生徒	中央幼年學校生徒						諸生徒						仙臺地方幼年學校生徒	中央幼年學校特待生	砲兵工科學校生徒	軍樂學校生徒	獸醫學校經理學校生徒	地方幼年學校特待生(仙臺ヲ除ク)	仙臺地方幼年學校特待生	
一筒	一筒	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組
滿六箇年間供用セシム							滿十九箇年間供用セシム	滿十箇年間供用セシム	滿九箇年間供用セシム	滿四箇年間供用セシム	滿九箇年間供用セシム	滿十七箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム	滿二十一箇年間供用セシム
		最初一組ヲ備附ケ爾後手 入品料ヲ以テ保續セシム																		

授	業	用	備	考
體操頭巾	體操衣袴	體操腹卷	擊劍腹卷	給與區分ノ規定ナキ品種ハ初度ニ於テ給スルモノト雖モ夏衣袴及日覆等ノ如キハ其 季節ニ於テ支給スルモノトス 幼年學校自費生徒ニハ背囊、被服手入具、體操服及寢具ヲ貸與ス 歩兵隊ヨリ砲兵工科學校ニ入校ノ者ニハ作業衣袴ヲ備附ケ供用セシム其ノ保存期限 ハ本表ノ規定ニ依ル 三十一年以前召募ノ中央幼年學校官費生半官費生ニ係ル被服ハ本表中央幼年學校特 待生半特待生ニ準シ給與スルモノトス
士官學校幼年學校體操擊劍助教	下士	戶山學校體操助教下士	戶山學校擊劍助教下士	
一筒	一筒	一筒	一筒	
滿三箇年間供用セシム				

第十五表 初裝者被服

陸軍給與令

火鉢	八錢二厘八錢九厘	敦賀	高崎
焚炭	五錢四厘五錢九厘	鯖江	濱田
札幌		名古屋	高知
弘前		伏見	廣島
仙臺		舞鶴	福岡
		山知	赤間
		鳥取	長崎
		濱田	熊本
			對馬
			鹿兒島
			大村
			佐保
			久留米
			小倉
			忠海

第二十五表 消耗品乘率

名	稱	月	額	週	日	額
步兵	隊	十五錢二厘	(十二錢九厘)	三錢六厘	(三錢一厘)	
騎兵	隊	二十五錢五厘	(二十二錢四厘)	六錢	(五錢三厘)	
野戰砲兵隊	野砲	二十四錢	(二十錢九厘)	五錢六厘	(四錢九厘)	
	山砲	二十三錢二厘	(二十錢一厘)	五錢四厘	(四錢七厘)	
要塞砲兵隊		十五錢一厘		三錢六厘		
工兵隊、鐵道隊		十七錢	(十四錢九厘)	四錢	(三錢五厘)	
輜重兵隊		二十五錢	(二十二錢)	五錢八厘	(五錢一厘)	
備考	括孤内ノ金額ハ旭川屯在各隊ニ支給スルモノトス					

第二十六表 陣營具水續料

名	稱	營	中	具	一	中	具	一	廚	具	額	廐	舍	具
步兵	聯隊本部	八圓六十八錢八厘	八十三錢一厘	五十一錢五厘	五圓	十一錢八厘								
對馬警備步兵大隊	大	二十九圓十三錢二厘	二圓十六錢六厘	二十圓十一錢八厘										
騎兵	甲	四十三圓七十錢二厘	四圓二十四錢九厘	二十四圓七十八錢六厘	三百四十六圓四十九錢									
	乙	二十八圓七十錢二厘	二圓八十四錢九厘	十六圓六十一錢四厘	百七十圓五錢四厘									
野戰砲	旅團	五十一圓三十二錢七厘	五圓六十八錢八厘	二十九圓六十二錢四厘	高十八圓八十七錢六厘									
山砲	聯隊	五十四圓九十二錢七厘	六圓十錢八厘	三十二圓九十六錢四厘	九十圓七十九錢八厘									
第七聯隊	東	九圓三十五錢九厘	九十八錢四厘	一圓三十五錢一厘										
要塞砲	聯	九圓二十八錢五厘	一圓一錢七厘	一圓二十一錢七厘										
本部	下	八圓九錢五厘	九十四錢五厘	七十六錢六厘										
大	佐	七圓八十七錢三厘	九十六錢五厘	八十三錢七厘										
藝隊	大	二十三圓三十五錢九厘	二圓	八錢十四圓二十七錢七厘										
鶴對馬	大	二十八圓九十二錢四厘	二圓五十一錢二厘	十七圓三十五錢九厘										
函館	大	二十一圓四十六錢六厘	二圓二錢九厘	十二圓八十九錢四厘										
工兵	大隊	三十一圓七十錢七厘	二圓二十八錢五厘	十八圓三十八錢四厘										

陸軍給與令

76 四十五

76 四十四

輜重兵	近衛第一大隊	二十六圓八十八錢九厘	二圓六十八錢三厘十五圓六十九錢九厘	百二十四圓三十六錢
自第一至第五大隊	二十四圓七十四錢七厘	二圓四十七錢九厘	十四圓三十七錢三厘	
鐵道大隊	三十九圓六十五錢七厘	二圓九十七錢二厘	十六圓五十錢五厘	

第二十七表 陣營具永續料乘率

名稱	每月	額	馬	每	額	週	日	額
步兵隊	五錢四厘五	一	一	一	一	一	一	一
騎兵隊	六錢六	一	一	一	一	一	一	一
野戰砲兵隊	六錢七	一	一	一	一	一	一	一
要塞砲兵隊	六錢六厘六	一	一	一	一	一	一	一
工兵隊	五錢九厘五	一	一	一	一	一	一	一
輜重兵隊	六錢三厘六	一	一	一	一	一	一	一
鐵道隊	七錢九厘六	一	一	一	一	一	一	一

第二十八表 埋葬料

士下官候補生	二	十	圓	諸兵	生	徒卒	十	五	圓
--------	---	---	---	----	---	----	---	---	---

考備 營外居住ノ者ニハ庖厨ノ金額ヲ給セス

考備 見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏ハ下士ノ額ニ依ル

第二十九表 軍隊被服

品目	名稱	保存期限
第二種帽	既設隊 各兵卒 一箇	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
絨衣袴 肩章 共	既設隊 各兵卒 一組	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
夏衣袴	既設隊 各兵卒 一組	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
外 套	既設隊 各兵卒 一箇	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
第一種背囊	既設隊 各兵卒 一箇	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
第二種背囊	既設隊 各兵卒 一箇	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區
第三種背囊	既設隊 各兵卒 一箇	第一區 第一區 第二區 第三區 第四區

陸軍給與令

76四十七

陸軍省達乙第一八六五號 明治三十二年六月二十六日

師團司令部

本年勅令第二二三號陸軍給與令附則第二十九表ハ本年度ヨリ實施ス

陸軍旅費規則左ノ通定ム

陸軍省令第十六號

明治三十二年六月七日

陸軍旅費規則

- 第一條 陸軍軍人軍屬公務ニ依リ旅行スルトキハ此規則ニ依リ旅費ヲ給ス
- 第二條 旅費ハ瀛車賃、船賃、車馬賃、宿泊料、日當、食卓料、移轉料及手當ノ八種トス
- 第三條 瀛車旅行ニハ哩數ニ應シ瀛車賃ヲ水路旅行ニハ海里數ニ應シ船賃ヲ其ノ他ノ旅行ハ陸路旅行トシ里數ニ應シ車馬賃ヲ給ス
- 宿泊料ハ夜數ニ應シ日當ハ日數ニ應シ之ヲ給ス但シ水路旅行ニハ宿泊料ヲ給セス
- 食卓料ハ官用ノ船舶ニテ旅行シ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキ之ヲ給ス但一日内ニ往復スルモノハ此限ニアラス
- 移轉料ハ赴任及陣營官衙學校移轉ノ場合ニ於テ之ヲ給ス
- 手當ハ旅次手當演習手當ノ二種トス旅次手當ハ軍隊旅行陣營移轉ノトキ之ヲ給シ演習手當ハ演習又ハ野外作業ノトキ之ヲ給ス
- 第四條 官用ノ舟車馬ニテ旅行スルトキハ瀛車賃、船賃、車馬賃ヲ給セス

陸軍旅費規則

旅行ノ性質又ハ地方ノ狀況ニ依リ定額ノ瀛車賃、船賃、車馬賃ヲ以テ支辨シ難キ場合ニ在テハ所屬長官ノ認定ニ依リ旅行ノ全部若クハ其ノ一部ニ對シ實費ヲ給スルコトヲ得

第五條 瀛車賃、船賃、車馬賃ハ種類毎ニ經過シタル路程ヲ合算シテ之ヲ給ス但シ各路程毎ニ一位未滿ノ端數ハ切捨トス

定額ヲ異ニシ若クハ旅行ノ中間ニ於テ日當及宿泊料ヲ止ムル場合ニ在テハ路程ヲ合算セス

第六條 旅行ノ年度ヲ跨ルトキハ各年度毎ニ區別シテ計算ス但シ瀛車旅行若クハ水路旅行ニシテ其ノ區別判明ナラサルトキハ最近ノ到著地ニ著シタル日ヲ以テ區別ス召集旅費及歸郷旅費ハ支出シタル日ヲ以テ區分ス

第七條 旅行經路ハ陸軍里程表ニ依ル但該表ニ掲ケサル地ニ在テハ郵便線路圖ニ依ル

陸軍里程表ニ掲ケル路程ヲ經路トスルモノハ其間該表ニ依ル又陸路ヲ經路ト爲スモノ其ノ路程中ニ瀛車路開設セル場合ニ在テハ其ノ間瀛車路ニ依ル

陸軍里程表及郵便線路圖ニ掲ケサル路程ハ地方官衙若クハ公署ノ證明セル路程ニ依ル但シ豫メ地方官衙ノ證明ニ基ケル里程表ヲ編製シ之ニ依リ計算スルコトヲ得

總テ里程ノ計算陸路ハ里程原標瀛車路ハ停車場海路ハ波止場ヲ基トス但シ各路相跨ルトキ一市町村内ニテ乗車下車又ハ乗船上陸セシトキ該原標ト停車場波止場間ノ里程ハ算入セス

第八條 陸路三里未滿ノ地ニ旅行スルモノニ在テハ旅費ヲ給セス三里以上四里未滿ノ地ニ在テハ旅行ノ種類ニヨリ旅費ヲ給セス又水路五海里未滿ノ地ニ旅行スルモノ要塞備附小蒸瀛船又ハ解舟ヲ以テ當該要塞地内ヲ航行スル者船員ヲ含ム及憲兵警察勤務執行上要塞附近ヲ舟行スル者ニ在テハ日當ヲ給セス但シ各種ノ路程相跨ルトキハ陸路ニ改算シテ滿未滿ヲ定ムヘシ其ノ改算一海里ハ陸路十六町五十八間三尺一哩ハ八十「チエン」ニシテ十四町四十三間一尺三寸六分二「チエン」ハ百「リンド」ニシテ十一間二寸四分二厘トス

前項中三里以上四里未滿ノ地ニ旅行スル者ニ旅費ヲ給セサル種類左ノ如シ

- 一 陸軍部内ニ於ケル軍隊官衙學校間往復ノトキ
- 一 赴任ノトキ但シ赴任ノ際住所ヲ轉スルモノニハ移轉料ノミヲ給ス
- 一 陣營官衙學校移轉ノトキ但シ移轉ノ際住所ヲ轉スルモノニハ移轉料ノミヲ給ス

旅費ヲ給セサル場合ト雖公務ノ都合ニ依リ宿泊セシムルトキハ宿泊數ニ應シ日當及
宿泊料ヲ給ス

第九條 某地出張滞在中公務ニ依リ陸路三里未滿ノ地ニ往返スルトキハ前條ニ準ス

第十條 旅行中歸省其ノ他私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過シ若クハ途中滞在スルモ
旅費ハ規定ノ經路ニ由リ給ス

第十一條 路程ニ依リ日數ヲ計算スルニハ汽車旅行一日二百哩詰水路旅行一日百海里
詰陸路旅行一日十二里詰トス但シ各種ノ路程相跨ルトキハ各其ノ路程十二分ノ一ヲ
以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時間トス通算上ヨリ生スル一日未滿ノ端數
一時間以上ハ一日トシテ之ヲ計算ス

第十二條 赴任スル者ノ旅費ハ舊任地休職、停職、豫備役、後備役ノ者休職理事
任地マテ之ヲ給スハ本職若クハ寄留地、新任ノ者ハ拜命地ヨリ新

命課及配賦取扱上ニ依テ甲地ヨリ乙地ニ著シ更ニ丙地ニ赴カシムルモノヲ甲地ヨリ
直ニ丙地ニ赴カシムルトキハ甲丙間ノ旅費ヲ給シ又甲地ヨリ乙地ニ著シ更ニ丙地ニ
赴カシムルトキハ乙丙地間ハ第二表中ノ雜費ヲ給セス

内地常設部隊ノ職ヲ免セラレ又ハ新ニ任官シ臺灣及韓國駐劄部隊附トナリタルモノ
ニハ移轉料ヲ給セス再ヒ内地常設部隊ノ職ヲ命セラレ其ノ在職地ト舊在職地若クハ
新ニ任官セシ地ト異ナルトキハ其ノ際新舊任地間ノ移轉料ヲ給ス

第十三條 營内居住ノ者轉職ノトキ事務引繼ノ爲メ退營後滞在セシムルトキハ日當及
宿泊料ヲ給ス

第十四條 歸郷スル者ノ旅費ハ舊任地ヨリ本籍地ニ至ル順路ニ應シテ出發ノ際之ヲ給
ス但シ文官理事ヲ除ク 雇員及傭人ノ歸郷ニハ給スルコトナシ

營内居住下士以下旅行中現役滿期等ニテ直ニ歸郷セシムルモノハ其ノ旅行地ヨリ之
ヲ給ス
歸郷旅費ハ歸郷スヘキ事實ノ生シタル日ヨリ九十日ヲ經過シテ請求スル者ニハ之ヲ
給セス

請願休暇旅行中准士官以上休職、停職、豫備役、後備役、退役トナリ理事休職退職トナ
リ又ハ營外居住下士以下現役滿期免官免役トナリ其ノ地ヨリ歸郷シ歸省中ノ又ハ其
ノ地若クハ他ノ地ニ寄留シ前項期限内ニ歸郷スル者ハ其ノ際第一項ニ依リ之ヲ給ス

陸軍旅費規則

第十五條 在職者ニアラスシテ在職中ノ事務ニ關シ旅行セシムルトキハ本官若クハ前官相當ノ旅費ヲ給ス

第十六條 凡テ普通一日ノ旅行ハ第十一條ノ路程ヲ例トス若シ川留雪支等ノ爲メ他道ヲ迂回シ又ハ傷痍疾病船待等ノ爲メ滞在シタルトキハ該地方官衙若クハ公署傷痍疾病ナレハ軍醫若クハ地方醫師ノ證明書ニ依リ旅費ヲ給ス

請願休暇旅行中公務ヲ命スルトキ其ノ公務ニ服スル間ハ日常及宿泊料ヲ給シ又公務ニ依リ旅行ヲ命スルトキ及公務ヲ帶ヒ歸廳ヲ命スルトキハ旅費ヲ給ス
赴任途中他ノ公務ヲ帶ヒ某地ニ迂回シ或ハ某地ニ滞在セシムルトキハ實際ノ經路ニ依リテ旅費ヲ給ス但シ移轉料ハ此限ニアラス

第十七條 左ノ各項ニ該ル者ニハ第一表ノ旅費ヲ給ス

- 一 差遣、巡回、出張、赴任ノトキ又ハ豫備役、後備役ノ者及休職理事ニシテ就職赴任ノトキ並官衙學校移轉ノトキ
- 二 准士官以上、休職、停職、豫備役、後備役、退役トナリ又理事ニシテ休職、退職トナリ歸郷ノトキ豫備役、後備役ニシテ就職シタルモノ解職、歸郷ノトキ

三 下士現役滿期又ハ事故ニ依リ現役、免除トナリ歸郷スルトキ

四 下士及士官候補生見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏理事試補公務ノ爲メ傷痍疾病ニ依リ歸郷ノトキ但シ免官ノ者ハ舊官等ニ依ル

五 裁判所若クハ軍法會議ヨリ證明ノ爲召喚セラレタル者及被告事件ニ依リ審判ヲ受ケ無罪又ハ免訴トナリタル者

六 新任若クハ採用ノ爲メ召喚セラレタル者但シ新任ノ者ハ新官等ニ依ル

第十八條 公務旅行中將校以下營内居住下士休職、停職、豫備役、後備役、退役、現役滿期、免官、免役トナリ文官ニシテ休職、退職、廢官、退官、免官トナリタル者ハ該地ヨリ舊任地マテ第一表ノ旅費ヲ給ス死亡セシ者亦同シ但シ免官、免役、死亡ノ者ハ舊官等ニ依ル

第十九條 准士官以上營外居住下士以下及文官赴任ノトキハ第一表ノ外第二表ノ移轉料ヲ給ス陣營官衙移轉陣營移轉ニ在テハ第四表ノ外ノトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ家族父母ヲ携行スル者又ハ其ノ際家族父母ヲ携行セス他日移セシムル者ニハ新舊任地間更ニ第二表ノ運搬費ヲ給ス

第二十條 旅行中轉任、轉職ニ依リ直ニ任地ニ赴カシムル者ハ該地ヨリ新任地マテ第一表ノ旅費ヲ給シ移轉料ハ前條ニ依ル

第二十一條 左ノ各項ニ該ル者ニハ第三表ノ旅費ヲ給ス但シ第五項中被告事件ノ爲メ護送ヲ受クル者ニ在テハ定額内ヲ以テ實費トス

一 學術検査ヲ受クル爲メ旅行ノトキ

二 兵卒現役中歸休ヲ命シ又ハ現役滿期歸郷ノトキ及下士兵卒諸生徒傷痍疾病其ノ

他ノ事故ニ依リ免官、免役トナリ歸郷ノトキ但シ免官ノ者ハ舊官等ニ依ル

三 准士官以下ニシテ士官候補生並諸生徒トナリ入營ノトキ及學生諸生徒事故ニ依

リ軍隊ニ入營ノトキ

四 華士族平民ヨリ生徒トナリ入校入營ノトキ

五 被告事件ノ爲メ護送ヲ受クルトキ罰金科料ニ處セラレ及刑期滿限ニ依リ其ノ所

管ニ復歸又ハ歸郷ノトキ

六 士官候補生ノ士官學校分遣、見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏ノ配賦中

央幼年學校生徒ノ士官候補生トナリ入營ノトキ

七 修學ノ爲メ諸學校へ召集又ハ軍隊へ派遣ノトキ其ノ他諸學校ノ學生生徒トナリ

派遣ノトキ

八 教導隊附トナリ派遣シ又ハ事務習修ノ爲メ派遣スルトキ

九 地方幼年學校生徒卒業ノ上中央幼年學校へ入學ノトキ

第二十二條 軍隊旅行、演習旅行、陣營移轉及臺灣、韓國守備隊定期交代ノトキハ第四

表ニ依ル流行病又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ軍隊及學生生徒ヲ一時移轉セシムルトキ亦

同シ但シ先發後發傷痍疾病其ノ他公務ノ爲メノ者ハ其ノ本部隊ニ復スル迄第一表ニ

依ル

前項旅費ノ外軍隊旅行及陣營移轉ノトキハ第五表ノ額ヲ演習旅行ノトキハ第六表ノ

額ヲ給ス但シ途中傷痍疾病ニ依リ病院又ハ病室ニ入り療養中並懲罰ニ依リ入營倉中

及犯罪ニ依リ留置入監中ハ之ヲ給セス

將校演習旅行ノ爲メ集合スル者及之ニ關シ旅行スル者ハ總テ其ノ旅行地集合地及解散地ヲ云フ

往復ハ第一表ニ作業中集合地著翌日ヨリ解散前日マテハ第四表ニ依リ別ニ第六表ノ額ヲ給ス

學生生徒野外作業ノ爲旅行セシムルトキハ出發當日ヨリ歸著當日マテ第四表ニ依リ

別ニ第六表ノ額ヲ給ス

學術上ニ就テ實視研究及學理實驗等ノ爲メ出張セシムルトキハ出發當日ヨリ歸著當日マテ第四表ニ依リ別ニ第五表ノ額ヲ給ス

演習及野外作業施行ノ際所屬長官等實視ノ爲メ若クハ之ニ關シ出張並見學ノ爲メ出張ノトキ其往復ハ第一表ニ依リ施行地内ハ第四表ニ依リ別ニ第六表ノ額ヲ給ス

臺灣ニ於ケル草賊鎮定ノ爲メ各隊ヲ旅行セシムルトキハ軍隊旅行ノ例ニ準ス

乘馬ノ職ニ在ル士官以上ハ馬數ニ應シ馬丁ヲ從屬セシムルコトヲ得其ノ旅費ハ第四表ニ依ル

前各項中第四表ニ依ルモノハ該定額内ヲ以テ實費支辨トス但シ時宜ニ依リ定額ヲ給スルコトヲ得

第二十三條 前條ニ依リ支給スル第六表ノ金額ハ一週日以上二週日マテヲ全額トシ二週日以上ハ一週日端日數ト雖一週日トスヲ増ス毎ニ其ノ三分一ヲ増給ス但シ管内居住者及第一表ノ額ヲ給スル場合ハ之ヲ給セス

第二十四條 軍隊旅行演習旅行及陣營移轉ノトキ荷物量目ハ第七表ニ依ル其ノ運送費

ハ實費トス流行病其ノ他ノ事故ニ依リ一時軍隊其ノ他學生生徒ヲ移轉セシムルトキ亦之ニ準ス

第二十五條 乘馬ノ職ニアル者赴任ノトキ馬匹牽連ノ者ニハ其ノ馬數ニ應シ第八表ノ旅費ヲ増給ス但シ臺灣及韓國内ニ在テハ實費ヲ給ス

乘馬ノ職ニアラサル職務ニ轉シ臺灣及韓國駐劄部隊附ニシテ内地ノ部隊附ニ轉シタル者ヲ除ク赴任スル者ハ前項ノ限ニアラス

公務ノ都合ニ依リ特ニ乘馬ニテ旅行ヲ命セラレタル者及臺灣韓國駐劄部隊附ニシテ内地ノ部隊ニ轉シ又ハ歸還セシムル者ハ第一項ニ同シ

第二十六條 管内居住ノ下士以下傷痍疾病ニ依リ又ハ准士官以上及營外居住ノ下士以下並ニ軍屬公務ニ起因スル傷痍疾病ニ依リ入院若ハ轉地療養ノ爲メ旅行セシムルトキハ第四表ニ依ル其ノ轉送退院歸營又歸廳ノトキ亦同シ但シ護送員ヲ附スル患者ニ在テハ定額内ヲ以テ實費ヲ給ス

第二十七條 休職、停職ノ者及豫備役、後備役准士官以上下士兵卒歸休兵、未入營現役兵補充兵國民兵役ニ在ル者並休職及豫備理事召集ノトキハ陸路里程ニ應シ第九表ノ

旅費ヲ給ス其ノ歸郷セシムルトキ亦同シ但シ船舶ニアラサレハ旅行シ難キ地方ニ在
テハ一海里以上ハ船賃ヲ給ス若シ該船賃ノ定額ニ依リ難キ場合ニ在テハ其地方ニ限
リ實費ヲ給スルコトヲ得

前項ノ旅費ハ近方三里未滿ハ之ヲ給セス三里以上七里未滿ハ半額七里以上ハ全額又
十二里以上ノ端里數一里未滿ハ給セス一里以上七里未滿ハ半額七里以上ハ全額ヲ給
ス

途中滞在ヲ要スルトキ及到着地ニ於テ宿泊セシムルトキハ日數ニ應シ滞在日當ヲ給
ス

充員召集ニ應スル者及國民兵召集ニ應スル者集合地ヨリ編入部隊所在地又ハ編成地
ニ至ル旅費ハ定額内ヲ以テ旅行中一切ノ費用ヲ實費支辨トス

戰時若クハ事變ノ際召集セラレタル休職、停職者ニシテ平時ニ復スルモ尙引續キ就
職スルトキハ召集ノ際居住セシ地ヨリ就職地マテ第十九條ノ規定ニ依リ第二表ノ移
轉料ヲ其ノ際ニ給ス豫備役、後備役下士以上ノ者復員ノ際常設官衙ニ就職スルトキ
亦同シ

第二十八條 諸學校軍隊等ニ修學ノ爲メ派遣若クハ召集ノ者又ハ事務習修ノ爲メ派遣
ノ者及諸學校附ノ將校隊附勤務ノ爲メ派遣ノ者ハ其ノ滞在中日當及宿泊料ヲ給セス

第二十九條 差遣若クハ出張ノ者同一ノ地ニ滞在ノ爲メ途中傷痍疾病 三十日以上ニ及
ブ者ハ著翌日ヨリ起算シ三十一日以後ハ日當及宿泊料ヲ給セス第四表 茶代ヲノ金額

ヲ給ス但シ砲臺建築工事ニ關シ出張ノ者ニ在テハ所管長官第四表 茶代ヲノ金額以內
ヲ以テ其給額ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條 陸地測量及修技所生徒測量修業ノ爲メ出張セシムル者ハ左ノ各項ニ依リ第
十表ノ旅費ヲ給ス但シ時宜ニ依リ定額内ヲ以テ實費ヲ給スルコトヲ得

測量班ヲ設ケサル地方へ測量ノ爲メ出張ノ者モ亦本條ニ準ス

- 一 在職ノ地ヨリ測量班ノ地區ニ到ル往返及測量班ノ地區分割セルトキ甲地區内ヨ
リ乙地區内ニ轉スルノ旅行ハ一日行程瀛車路二百哩海路百海里陸路十二里ヲ以
テ算出シタル日數ニ應シ旅次日當ヲ給ス其ノ一日未滿ノ行程ハ時間 各十二分ノ
時間ニ改算シ一時間未滿ハ給セス七時間未滿ハ半額七時間以上ハ全額ヲ給ス 各
路
程ノ時間ヲ通算スル場合ニ於ケル日當額ハ時間ノ
多キニ依リ又時間等シキトキハ給額ノ多キニ依ル 但シ在職地ヨリ陸路三里未滿

各種ノ路程ニ跨ルトキハ第八條ニ依リ改算スノ地ニ到ル旅行ニハ旅費ヲ給セス若シ船舶ニアラサレハ到リ難キ地ニ在リテハ一海路以上實費ヲ給ス

二 測量地到著翌日ヨリ其ノ地引揚ケ前日迄ハ其ノ日數ニ應シ又前項但書ノ場合ニ在テ宿泊セシムルトキハ宿泊數ニ應シ及甲地區内ヨリ乙地區内ニ轉スルトキハ日行程ニ滿タサル場合ニハ前項ニ據ラス作業日當ヲ給ス

三 陸地測量ノ爲メ傭夫ヲ出張セシムルトキハ出發當日ヨリ歸著當日迄日數ニ應シ日當ヲ給シ舟車馬ニテ旅行セシムルトキハ實費ヲ給ス但シ第一項但書ノ場合ニ於ケル日當ハ宿泊數ニ應シ支給スルモノトス

四 出張中傷疾疾病其ノ他ノ事項ニ依リ滞在スルトキハ滞在日當ヲ給ス

第三十一條 臺灣内ノ旅行召集ヲニ在テハ第十一表ノ旅費ヲ給ス其ノ隊伍ヲ爲ス者又ハ護送員ヲ附スル患者ニ在テハ實費支辨トス但シ第十一表ノ旅費ヲ給スル者同一ノ地ニ滞在旅行ノ途中傷疾疾病ノ爲滞在ノ者共三十日ニ及フ者ハ著翌日ヨリ起算シ三十一日以後ハ同表ノ日當及宿泊料ヲ給セス第一表ノ宿泊料ヲ給ス

韓國駐劄部隊附又ハ該部隊ニ關スル用務ニ依リ該國內ノ旅行ニ在テモ前項ニ同シ臺灣及韓國駐劄中准士官以上休職、停職、豫備役、後備役トナリ又ハ外宿加俸ヲ受ク

ル下士以下現役滿期、免官、免役トナリ及文官ニシテ休職、退職、廢官、退官トナリ内地ニ歸還スル者ハ駐劄部隊ニ屬セシ場合ニ於ケル前任地若クハ新任セシ地マテ官等相當ノ旅費ヲ給ス但シ自己ノ便宜又ハ刑事裁判及懲戒處分ニ由リ免官ノ者ハ此限ニアラス

前項歸還者ニシテ歸郷旅費ヲ給スヘキモノハ駐劄部隊ニ屬セシ場合ニ於ケル前任地若クハ新任セシ地ヨリ本籍地マテ支給ス

雇員傭人ニシテ駐劄部隊所屬中解雇解備トナリ内地ニ歸還スル者ハ其ノ採用地若クハ傭入地迄在勤中ノ身分ニ應シ旅費ヲ給ス

第三十二條 囑託者ヲシテ其ノ用務ノ爲メ旅行セシムル場合ノ旅費ハ左ノ區別ニ依リ

一 一般内國旅費規則ノ規定ニ依ル但臺灣内ノ旅行ニ在テハ第十二表ノ額ニ依ル

一 陸軍以外ノ在官者ハ其ノ官級ノ額

一 在官者ニアラスシテ其ノ身分從六位勳六等以上ノ者ハ奏任官ノ額其ノ他ノ者ハ判任官ノ額

第三十三條 陸軍召集諸費支出規程ニ依リ旅行スル警察官吏及市町村吏員等ノ旅費ハ

左ノ區別ニ依リ一般内國旅費規則ノ規定ニ依ル

一 警視、警部ハ其ノ官級ノ額

一 市町村吏員及巡查等ハ明治三十年内務省令第二十七號甲號表ノ額

第三十四條 陸軍召集條例ニ依リ身體検査ノ爲要スル補助醫ニシテ旅行ヲ要スル場合

ニ在テハ一般内國旅費規則ノ規定ニ依リ判任官ノ額ヲ給ス

第三十五條 屯田兵隊ニ在テ外宿加俸ヲ受クル下士ハ本規則營外居住下士ノ給與ニ依ル

第一表 單獨旅行

階級	區分	瀛車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	當日食卓料
大將	高等官親任	七錢	七錢	三十五錢	三圓	二圓五錢
將官	同 一 等	六錢	六錢	三十錢	二圓	二圓五錢
同相當官	同 二 等	五錢	五錢	二十錢	一圓五錢	一圓五錢
上長官	同 三 等 以下	五錢	五錢	二十錢	一圓五錢	一圓五錢
士官	同 六 等 以下	五錢	五錢	二十錢	一圓五錢	一圓五錢

階級	區分	瀛車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	當日食卓料
准士官	試補	四錢	四錢	十五錢	一圓	五十錢
下士	判任官	四錢	四錢	十二錢	八十錢	四十錢
兵卒	雇員月給十五圓以上	二錢	三錢	十錢	五十錢	二十錢
兵卒	雇員月給十五圓未満	二錢	三錢	十錢	四十五錢	十五錢

中將ニシテ親補職ニ在ル者ハ大將ノ額ニ依ル
 士官候補生見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏ハ下士ノ額ニ依ル
 北海道ハ毎年十一月ヨリ翌年三月迄五箇月間車馬賃ニ限リ本表定額ノ八割ヲ増給ス

第二表 移轉料

階級	區分	運賃	搬費	雜費
大將	將 高等官親任	五錢	六錢	二十七錢
同相當官	同 一 等	四錢	五錢	二十五錢
同相當官	同 二 等	三錢	四錢	十七錢
同相當官	同 三 等 以下	二錢	三錢	十七錢
准士官	判任官	二錢	三錢	十七錢
下士	雇員月給十五圓以上	二錢	三錢	十七錢
下士	雇員月給十五圓未満	二錢	三錢	十七錢
兵卒	及 雇員月給十五圓未満	二錢	三錢	十七錢

陸軍旅費規則

中將ニシテ親補職ニアル者ハ大將ノ額ニ依ル
 北海道ハ毎年十一月ヨリ翌年三月迄五箇月間車馬賃ニ限リ本表定額ノ八割ヲ増給ス
 雇員傭人ハ特ニ赴任セシムル場合ニ限ル
 家族ヲ携行スルモノ又ハ移轉セシムル場合ハ所屬長官ノ證明ヲ要ス

第三表

入學校軍隊へ學術受驗
 派遣共 歸郷 旅費

階級	區分	汽車賃	一哩付船賃	一海里付車馬賃	一里付宿泊料	一夜付日當
准士官以上	四	錢三	錢一十	錢一四十五	錢一十二	錢一十
下士以下	一	錢五厘	錢五厘	錢一六	錢一三	錢一十

理事試補ハ准士官ノ額ニ依リ士官候補生見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏及生徒ハ下士以下ノ額ニ依ル

下士以下歸郷スルトキ傷痍疾病ニ依リ歩行シ難キモノハ車馬賃一里ニ付四錢ヲ増給ス
 北海道ハ毎年十一月ヨリ翌年三月迄五箇月間車馬賃ニ限リ本表定額ノ八割ヲ増給ス
 但シ傷痍疾病ニヨリ歩行シ難キモノノ割増ハ第二項ノ増加額ヲ加算シテ算出スルモノトス

第四表

軍旅旅行
 陣營移轉 旅費

階級	區分	朝食料		晝食料		夕食料		宿舍料		途代		舟車馬賃
		茶	代	計	汽車路	一哩付水路	一海里付陸路	一里付				
將	同相當官	二十錢	十五錢	二十錢	八錢	二錢	六十五錢	四錢	五厘四	錢十	錢	
准士官以上	十五錢	十二錢	十五錢	七錢	二錢	五十一錢	四錢	五厘三	錢十	錢		
下士以下	十錢	十錢	六錢	二錢	三十八錢	一錢	五厘一	錢五厘	十錢	錢		

滯在中ハ途中茶代ヲ給セス

高等文官 試補ヲハ准士官以上ノ額ヲ判任文官士官候補生見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏諸生徒及雇員傭人ハ下士以下ノ額ニ依ル

第五表 旅次手當

階級	親任	日額
大將	高等官	二圓五十錢
中將	一等官	二圓
少將	二等官	一圓五十錢
同大	相當官	一圓
同少	相當官	一圓
同中	相當官	一圓
同大	相當官	一圓

陸軍旅費規則

中將ニシテ親補職ニ在ル者ハ大將ノ額ニ依ル	二等	一等	樂看	上等	同	二等	同	一等	曹	准	同	少	同	中	同	大	同	少	同	中
	等	等	手護	等	相等	相等	相等	相等	士	相	相	相	相	相	相	相	相	相	相	相
	卒	卒	補手	兵	官曹	官曹	官曹	官長	官	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉	官尉
					同	同	同	判	試	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					五級以下	四級	三級	官	二	八等以下	七等	六等	五等	四等	三等	二等	一等	一等	一等	一等
	一	二	五	十	十	二十	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
	厘	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	圓

士官候補生ハ其ノ階級ニ應シ見習隊官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏ハ曹長ノ額ニ依ル
 雇員ニシテ給料一箇月六拾圓以上ハ曹長四拾五圓以上ハ一等軍曹拾五圓以上ハ二等軍曹拾五圓未滿及傭人ハ二等卒ノ額ニ依ル

第六表 演習手當

階	將	上	士官及准士官	營外兵	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
階	長	官	官	卒	判	及	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
階	官	官	官	員	任	試	六等以上	五等以上	三等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上	二等以上
級	高等官	高等官	高等官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官	官
級	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
級	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上	週日以上
量	定額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額	同上三分ノ一ノ額
目	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢	一圓三十錢
目	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百	十二貫九百
目	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百	八貫六百

第七表 荷物量目

陸軍旅費規則

士官相准士官同及同六等以下四貫三百
 下士以下判任官一貫六百五十
 士官候補生見習醫官見習藥劑官見習獸醫官見習軍吏ハ下士以下ノ量目ニ依ル

第八表 馬匹旅費

名稱	區分	旅車路	水路	陸路
馬	匹	十	四	五
		付	付	付
		哩	海里	陸路
		二	二	二
		錢	錢	錢

特ニ乘馬ニテ旅行ヲ命シタル者滞在中ニ限り馬數ニ應シ一日三十八錢ヲ給ス
 本表ノ旅費ニハ馬丁ノ旅費ヲ包含ス

臺灣及韓國行ノ者ニシテ馬匹牽連ノトキ内地旅行間ハ本表ノ外馬糧ノ實費ヲ給ス

第九表 召集旅費

階級	陸路	滞在	水路
將官	十二里	日當	一海里
同相當官	付	當	付
上長官	三圓五十錢	圓	六圓
同相當官	二圓十錢	七圓十錢	四圓
同相當官	二圓十錢	七圓十錢	四圓

准士官	一圓四十錢	五圓十錢	四圓
下士	七圓十錢	三圓十錢	二圓
未入營現役兵卒			
補入兵卒			
國補入兵卒			

勅任理事ハ將官ニ奏任理事ハ上長官士官ニ依ル
 下士以下補充兵國民兵歸郷ノトキ傷痍疾病ニ依リ歩行シ難キ者ハ車馬賃トシテ一里ニ付五錢ヲ増給ス但シ三里未滿ノ者ニ在テハ一里ニ付十錢ヲ給ス
 臺灣ニ於テ演習召集ニ應スル者ハ本表ノ倍額ヲ給ス

第十表 測量旅費

階級	旅次	日當	作業	日當	當	滞在日當
少佐或相當	八	圓四圓	係	一等	二圓	一圓五十錢
陸地測量師						
大尉或相當	六圓五十錢	四圓	係	二圓	二圓	一圓三十錢
陸地測量師						
中少尉或相當	六圓五十錢	四圓	係	二圓	二圓	一圓三十錢
陸地測量師						
准士官	五圓五十錢	三圓	係	二圓	二圓	一圓三十錢
陸地測量師						

陸軍旅費規則

一備 人一八 錢八 錢三十 錢九十 錢二十五 錢三十 錢

中將ニシテ親補職ニアルモノハ大將ノ額ニ依ル

第十二表 臺灣内囑託者旅費

等	級	汽車賃	一哩	船賃	一海里	車馬賃	一里	宿泊料	一夜	日	當	一日	食卓料	一日
二	等	勅任官	二十	錢	二十	錢	八十	錢	三圓	五十	錢	一圓	五十	錢
三	等	奏任官	十五	錢	十五	錢	六十	錢	三圓	五十	錢	一圓	二十	錢
四	等	判任官	十	錢	十	錢	四十	錢	二圓	六十	錢	七	十	錢

海軍省令第二號

海軍内國旅費規則左ノ通り定ム

明治三十一年三月二十八日

海軍大臣侯爵西郷從道

海軍内國旅費規則

第一條 海軍軍人軍属公務ニ依リ本邦内ヲ旅行スルトキハ此ノ規則ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條 海軍内國旅費ハ第一表ノ旅費等級ニ從ヒ順路ニ依リ第二表乃至第七表ニ定ムル處ノ定額ヲ支給ス但シ此ノ規則ニ於テ特ニ實費拂ヲ規定シタル者及汽車料船舶料車馬料ノ定額ヲ以テ支辨シ難キトキ海軍大臣ニ於テ特ニ實費拂ヲ認許シタルモノハ各其實費ヲ支給ス

第三條 汽車料又ハ船舶料ノ實費ヲ支給スル場合ニ於テ汽車又ハ船舶ノ各室ニ等級アルトキハ其等級ハ旅費等級四等以上ノ者ハ上等トシ五等及六等ノ者ハ中等トシ七等及八等ノ者ハ下等トス但シ中等ナキトキハ五等ノ者ヲ上等トシ六等ノ者ハ下等トス

第四條 汽車料ハ哩數船舶料ハ海里數車馬料ハ里數日當ハ日數宿泊料ハ泊數ニ應シ之

海軍内國旅費規則

ヲ支給シ食卓料ハ官用船舶ニテ旅行シ官ヨリ賄ヲナササルトキ日數ニ應シ之ヲ支給ス但シ海路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス

第五條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ第二表ノ定額ヲ支給ス

- 一 軍人軍属出張ヲ命セラレ旅行スルトキ
- 二 准士官以上豫備後備若ハ退役トナリ歸郷スルトキ
- 三 豫備後備退役ノ者ニ在職在役中ノ公務ニ關シ旅行ヲ命スルトキ
- 四 事務引繼殘務取調等ノ爲メ免官廢官免役若ハ豫備後備退役ノ者ニ旅行ヲ命スルトキ但シ免官廢官若ハ免役ノ者ハ從前ノ等級ニ依ル
- 五 新ニ武文官ニ任官若ハ雇員傭人ニ採用スル爲メ召喚スルトキ但シ其任用若ハ採用スル所ノ等級ニ依ル

第六條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ第三表ノ定額ヲ支給ス

- 一 准士官以上候補生及文官ニシテ新ニ任地ニ赴クトキ若ハ舊住地ヨリ新任地ニ赴クトキ
- 二 准士官以上候補生及文官ニシテ艦船乗組ヲ命免セラレ旅行スルトキ

三 准士官以上待命休職停職ト爲リ東京ニ歸住若ハ指定ノ地ニ赴クトキ

四 外泊下士ニシテ新ニ任地ニ赴キ若ハ舊任地ヨリ新任地ニ赴クトキ又ハ本籍海兵團所在地外ニ在テ勤務ヲ免セラレ歸團スルトキ

第七條 前條第一乃至第三ノ事項ノ一ニ該ルモノニシテ家族ヲ移轉スルトキハ左ニ掲クル場合ニ應シ別ニ第四表ノ定額ヲ支給ス

- 一 准士官以上及文官ニシテ新ニ任地ニ赴キ若ハ舊任地ヨリ新任地ニ赴クトキハ出發地若ハ舊任地ヨリ新任地マテ
- 二 准士官以上ニシテ陸上勤務ヲ免セラレ艦船乗組ヲ命セラレタルトキハ其地ヨリ東京マテ
- 三 准士官及文官ニシテ艦船乗組ヲ免セラレ陸上勤務ヲ命セラレタルトキハ東京又ハ前勤務廳所在地ヨリ新勤務廳所在地マテ但シ文官ハ前勤務所在地ヨリ新勤務廳所在地マテニ限ル
- 四 准士官以上ニシテ待命休職停職トナリタルトキ艦船乗組ノ者ハ前勤務廳所在地ヨリ東京迄陸上勤務ノ者ハ其地ヨリ東京迄但陸上勤務ノ者滯在地ヲ指定セラレ

タルトキハ其指定ノ地マテ

- 五 待命休職停職准士官以上ニシテ指定地ノ滞在ヲ免セラレ東京ニ歸住スルトキハ其地ヨリ東京マテ但滞在地ヲ更定セラレ更ニ指定地ニ赴クトキハ該指定地マテ
 - 六 准士官以上ニシテ臺灣島澎湖島若ハ竹敷要港部ノ勤務ヲ命セラレ同地ニ家族ヲ移轉セサルトキハ前勤務廳所在地ヨリ東京マテ
 - 七 臺灣島澎湖島若ハ竹敷要港部ノ勤務ヲ免セラレタル准士官以上及文官ニシテ同地勤務中同所ニ家族ヲ移轉セサル者同地以外ノ陸上勤務ヲ命セラレタルトキハ東京又ハ前勤務廳所在地ヨリ新勤務廳所在地マテ但シ文官ハ前勤務廳所在地ヨリ新勤務廳所在地迄ニ限ル
- 下士ニシテ准士官ニ新任ノ場合ニ在テ本籍海兵團所在地若ハ同上以外ノ勤務地ヨリ家族ヲ移轉スルトキハ其地ヨリ前項ノ例ニ依リ第四表ノ定額ヲ支給ス
- 第八條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ第五表ノ定額ヲ支給ス
- 一 下士卒豫備役後備役免官免役若ハ歸休兵ト爲リ又ハ志願兵入營ノ際疾病其他事故ノ爲メ其採用ヲ取消サレ歸郷スルトキ

- 二 豫備後備ノ准士官以上及下士卒並ニ歸休兵召集地ニ旅行シ又ハ召集地ヨリ歸住スルトキ但豫備後備ノ准士官以上召集中死亡シタルトキハ本項ノ例ニ依ル
- 三 行軍演習其他射擊操練ノ實施若ハ見學又ハ學術研究ノ爲メ旅行スルトキ
- 四 學術受験ノ爲メ旅行スルトキ
- 五 入校試験ニ及第シタル生徒志願者ニ生徒ヲ命スル爲メ召喚スルトキ若ハ入校ノ際身体検査不合格ニ依リ採用ヲ取消サレ又ハ傷痍疾病ニ因リ退校ヲ命セラレ歸住スルトキ

- 六 艦船ノ乗員公暇上陸中本艦船出港ノ爲メ追尾歸校スルトキ
 - 七 生徒下士以下入院退院シ若ハ施療場所ヲ移轉セシムルトキ
 - 八 准士官以上公務ニ原因シ疾病痠傷ニ罹リ軍醫官ノ指定ニ依リ入院退院シ若ハ施療場所ヲ移轉セシムルトキ但所轉應ニ於テ海軍大臣ノ認許ヲ得タルトキニ限ル
- 下士卒勤務ヲ命免セラレ旅行スルトキハ第七表ノ定額ヲ支給シ同表面外ノ地ヲ旅行スルトキハ第五表ノ定額ヲ支給ス

第九條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ第六表ノ定額ヲ支給ス

- 一 臥具炊具ノ設備ナキ船艇ニ乗組ミ出張スルトキ
- 二 囚人ヲ旅行セシムルトキ又ハ刑事被告事件ニ依リ旅行スルトキ
- 三 刑期滿限ニ依リ復歸スルトキ
- 四 軍艦乗組人公務旅行中若ハ傭入地外ニ於テ解備トナリ該地ヨリ傭入地マテ旅行スルトキ

第十條 測量ノ爲メ出張シ測量ニ従事スルトキハ其地到着ノ翌日ヨリ發程ノ前日マテ
 瀛車料船舶料及車馬料ヲ支給セス

第十一條 前條ノ場合ヲ除クノ外第二表ノ定額ヲ支給スル出張者ニシテ三十日以上同
 一ノ地ニ滞在スル出張者ニハ其地到達ノ翌日ヨリ起算シ三十一日目ヨリ發程ノ前日
 マテ第二表ノ宿泊料ヲ支給シ日當ハ支給セス

測量土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡迴スル者又ハ常時旅行ヲ要スル者ニ對シテハ海軍大
 臣ノ認許ヲ得テ旅費定額以内ノ旅費額ヲ定メ月額又ハ日額ヲ以テ支給スルコトヲ得
 旅行ノ性質土地ノ狀況等ニ依リ海軍大臣ニ於テ該旅費ノ減額給與ヲ至當ト認ムルト
 キハ前項ニ準シ特ニ之カ給額ヲ定ム

第十二條 艦船試運轉速力試験若ハ銃砲水雷試射或ハ懸賞射撃其他試験ノ爲メ艦船ニ
 乗組ミ出張スルトキハ其日數ニ應シ第二表ノ食卓料ヲ支給シ日當ハ支給セス但糧食
 ヲ官給スルトキハ食卓料ヲ支給セス

前項ノ場合ニ於テ臥具ノ設備ナキ爲メ陸地宿泊ヲ要スルトキハ其間第二表宿泊料ノ
 ミヲ支給ス

第十三條 豫備後備ノ准士官以上及下士卒並ニ歸休兵召集セラレ就職乗艦若ハ入團以
 前滞在ヲ要スルトキハ滞在地到着ノ翌日ヨリ就職乗艦入團ノ前日マテ (若シ他地方
 トキハ其) 第五表ノ宿泊料ヲ支給シ日當ハ支給セス但官ニ於テ賄ヲナスルトキハ此限
 リニアラス

第十四條 賜暇旅行中出張ヲ命シ直チニ指定地ニ赴クトキハ現所在地ヨリ定額ヲ支給
 シ又特ニ公務ニ従事セシムルトキハ其間日當及宿泊料ヲ支給ス

第十五條 艦船乗組ノ下士以下公務ヲ以テ上陸シ風波ノ爲メ歸投スルコト能ハサルト
 キハ第二十三條ノ規定ニ拘ラス第五表ノ宿泊料ヲ支給シ日當ハ支給セス

第十六條 待命休職停職及非職中就職ノトキハ現住地ヨリ勤務地マテ第六條ニ依リ定

額ヲ支給ス

78 八

第十七條 准士官以上候補生文官及外宿下士賜暇旅行中若ハ公務旅行中轉職又ハ轉勤

ヲ命シ直チニ赴任スルトキハ現所在地ヨリ勤務地マテ第六條ニ依リ定額ヲ支給ス

第十八條 准士官以上候補生及文官ニシテ公務旅行中死亡シタル者若ハ廢官退官非職

トナリタル者ハ左ノ區分ニ依リ旅費ヲ支給ス

一 出張ノ途中ニ在テハ出發廳所在地ヨリ第五條ノ定額ヲ支給ス

二 赴任途中ニ在テハ舊任地マテ第六條ノ定額ヲ支給ス

第十九條 瀛車路十二哩海路十二海里陸路六里未滿ノ旅行ニハ公務ノ都合又ハ避クヘ

カラサル事故ニ依リ宿泊ヲ要スルトキニ限り其泊數ニ應シ宿泊料ヲ支給シ日當食卓

料ハ支給セス又赴任ノ旅行ニシテ家族ヲ移轉スルモ第七表ノ定額ヲ支給セス

旅行ノ各種ニ跨ルトキハ瀛車路二哩海路二海里ヲ陸路一里ニ計算シ前項ノ支給區分

ヲ定ム

第二十條 行軍演習營舍移轉其他隊伍ヲ組ミ旅行スルトキハ食卓料瀛車料船舶料ハ第

六表ノ各定額以内宿泊及賄費ハ同表ノ日當及宿泊料ノ併算シタル金額以内ニ於テ實

費ヲ支給ス但宿泊及賄費ニシテ該金額以内ニ於テ支辨シ難キトキハ海軍大臣ノ認許
ヲ得其實費ヲ支給ス

前項旅費ノ外荷物ノ運送費ハ實費トシ又宿泊ヲ要セス一時ノ休憩ニ止マルトキハ第

十九條及第三十三條ノ規定ニ拘ラス一人ニ付貳錢以内ノ實費ヲ支給ス

第二十一條 北海道旅行ハ十一月ヨリ三月マテ五箇月間車馬料ニ限り定額ヲ以テ支辨

シ難キ場合ニ於テ其實費ヲ支給ス

第二十二條 生徒及下士以下傷痍疾病ノ爲メ入院シ若ハ施療場所ヲ移轉セシメ又ハ下

士卒ヲ歸郷セシメ軍艦乘組備人ヲ備入地ニ復歸セシムル場合ニ於テ軍醫官ノ診斷及

所轉長ノ認定ニ依リ特ニ舟車馬肩輿等ヲ要スルトキハ其實費ヲ支給ス

第二十三條 刑事被告人若ハ患者ノ護送者ニシテ刑事被告人若ハ患者ヲ護送スル爲メ

同車同鑑ヲ要スル場合ニ於テハ第三條ノ例ニ照シ護送者ノ等級下級ニ屬スルトキハ

被告人若ハ患者ノ等級ニ包含スル旅費等級中ノ最下級ニ從ヒ瀛車料及船舶料ノ定額

ヲ支給ス

第二十四條 一日ノ行程ハ瀛車路二百哩海路百海里陸路十二里ヲ旅行スルヲ例トス但

海軍内國旅費規則

78 九

川留雪支船待其他避クヘカラサル事故若ハ特命ニ依ル滞在ハ此例ニアラス

明治三十一年勅令第四十六號ニ依リ支給スル旅費及此規則第十八條ニ依リ死亡者ニ支給スル旅費ハ現日數ニ拘ラス前項里程ノ規準ニ依リ之レヲ計算シ日當及宿泊料ヲ支給ス

第二十五條 前條第一項但書ノ事故ヲ生シタル場合ニ於テ明治三十一年勅令第四十六號第一第二若ハ第五ノ旅行ニ在テハ特ニ海軍大臣ノ認許ヲ得タルモノニ限リ其他ノ旅行ニ在テハ左ノ証明書アルモノニ限リ事故ノ爲メ増加シタル日數及泊數ニ對シ別ニ日當及宿泊料ヲ支給ス

一 傷痍疾病ニ依リ滞在シタルトキハ醫證

二 船待ノ爲メ滞在シタルトキハ船舶會社若ハ同酒店又ハ船長ノ證明書

三 川留、雪支其他避クヘカラサル事故ニ因リ滞在シタルトキハ其實況ヲ證明シタル證類

第二十六條 第二十四條第二項ノ日數及泊數ヲ計算スル場合ニ於テ各行程一日未滿ノ端數ヲ生スルトキハ瀛車路十六哩海路八海里陸路一里ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日

ノ旅行時間ヲ十二時間トシ一時間ヲ越ユルトキハ日當一日分十二時間ヲ越フルトキハ宿泊料一泊分ヲ支給ス

第二十七條 明治三十一年勅令第四十六號第三若ハ第四ノ旅行ニシテ追尾乘艦スルトキ若ハ天災其他避クヘカラサル事故ノ爲メ經路ヲ變更シタルトキハ之レカ爲メ生シタル旅費ノ差増額ヲ支給ス

前項ニ依リ日數及泊數ヲ計算スルニハ最初ヨリ通シテ第二十四條第二十五條及第二十六條ノ計算法ニ依ル

第二十八條 瀛車料船舶料及車馬料ハ其種類毎ニ經過セシ路程ノ總數ヲ合算シテ之レヲ支給ス但一位未滿ノ端數ハ計算セス

瀛車船舶ノ乗下若ハ乗換ノ場合ニ於テ其里數一里ニ滿タサルモノ及發著地ノ市町村ハ總里數ニ算入セス

第二十九條 行程ヲ計算スルニハ海軍里程表ニ依ル若シ之レニ依リ難キモノアルトキハ郵便線路圖又ハ水路部鐵道局鐵道會社或ハ地方廳ノ測定スル所ニ依ルヘシ海軍里程表ハ別ニ之レヲ定ム

第三十條 旅行ノ性質ニ依リ定額ニ差異アル場合ニ於テ一日ノ旅行各種ニ跨ルトキハ其多額ニ就キ之レヲ支給ス

第三十一條 歸郷旅費ハ従前ノ勤務地若ハ現所在地ヨリ原籍迄之レヲ支給ス但寄留地ニ於テ召集セラレ直チニ召集ニ應シタル者ハ區長若ハ市町村長ニ於テ當時其他ノ寄留者タルコトヲ証明シタルモノニ限り該寄留地マテ支給スルコトヲ得

第三十二條 旅行中任官進級等ニ依リ旅費等級ニ異動アリタルトキハ辭令受領若ハ官報ニテ承知ノ日ヨリ相當ノ旅費ヲ支給ス

旅行中豫備後備トナリタルトキハ其辭令受領ノ翌日ヲ以テ旅費ノ支給ヲ區分ス

第三十三條 勤務廳所在及乗組艦船碇泊ノ市町村内ニ止マル旅行ニハ旅費ヲ支給セス

第三十四條 軍艦其他官用ノ船車馬ニテ旅行スルトキハ汽車料船舶料及車馬料ヲ支給セス

第三十五條 旅行中私專ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ經過スルトキハ日當及宿泊料ハ其日ヨリ再ヒ順路ニ復スル日マテ汽車料船舶料及車馬料ハ迂路ニ入りタル間之レヲ支給セス但赴任途中他ノ公務ヲ以テ迂路ヲ經過スルトキハ其間仍ホ第六條ノ定額ヲ支給

ス

第三十六條 旅費ハ所轄廳ニ於テ之レヲ支給ス但本條第一、第二、第三ノ場合ニ於テハ出發廳ニ於テ第四ノ場合ニ於テハ兼務廳ニ於テ第五ノ場合ニ於テハ當該用務廳ニ於テ之レヲ支給ス

一 本人ノ請求ニ依リ赴任旅費ヲ概算渡スルトキ

二 明治三十一年勅令第四十六號ニ依リ旅費ヲ支給スルトキ

三 他所管ニ屬スル刑事被告人ヲ旅行セシムルトキ

四 兼務廳ノ用務ヲ以テ旅行セシムルトキ

五 所轄廳以內ノ用務ヲ以テ旅行セシムルトキ

第三十七條 前金渡トシテ支給スル旅費ハ支出ノ日ヲ以テ會計年度ヲ區分シ其他ノ場合ニ於テ旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ日當宿泊料車馬料及食卓料ハ合計年度分界ノ日ニ依リ區分シ汽車料船舶料ト其乗車券若ハ乗船券ニ記載ノ地ニ到達マテ前年度ノ所屬トス

第三十八條 本則中下士以下トハ下士卒及艦團部隊砲術練習所水雷術練習場ニ屬スル

第三十條 旅行ノ性質ニ依リ定額ニ差異アル場合ニ於テ一日ノ旅行各種ニ跨ルトキハ其多額ニ就キ之レヲ支給ス

第三十一條 歸郷旅費ハ從前ノ勤務地若ハ現所在地ヨリ原籍迄之レヲ支給ス但寄留地ニ於テ召集セラレ直チニ召集ニ應シタル者ハ區長若ハ市町村長ニ於テ當時其他ノ寄留者タルコトヲ証明シタルモノニ限リ該寄留地マテ支給スルコトヲ得

第三十二條 旅行中任官進級等ニ依リ旅費等級ニ異動アリタルトキハ辭令受領若ハ官報ニテ承知ノ日ヨリ相當ノ旅費ヲ支給ス

旅行中豫備後備トナリタルトキハ其辭令受領ノ翌日ヲ以テ旅費ノ支給ヲ區分ス

第三十三條 勤務廳所在及乘組艦船碇泊ノ市町村内ニ止マル旅行ニハ旅費ヲ支給セス

第三十四條 軍艦其他官用ノ船車馬ニテ旅行スルトキハ汽車料船舶料及車馬料ヲ支給セス

第三十五條 旅行中私專ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ經過スルトキハ日當及宿泊料ハ其日

ヨリ再ヒ順路ニ復スル日マテ汽車料船舶料及車馬料ハ迂路ニ入りタル間之レヲ支給セス但赴任途中他ノ公務ヲ以テ迂路ヲ經過スルトキハ其間仍ホ第六條ノ定額ヲ支給

ス

第三十六條 旅費ハ所轄廳ニ於テ之レヲ支給ス但本條第一、第二、第三ノ場合ニ於テハ出發廳ニ於テ第四ノ場合ニ於テハ兼務廳ニ於テ第五ノ場合ニ於テハ當該用務廳ニ於テ之レヲ支給ス

一 本人ノ請求ニ依リ赴任旅費ヲ概算渡スルトキ

二 明治三十一年勅令第四十六號ニ依リ旅費ヲ支給スルトキ

三 他所管ニ属スル刑事被告人ヲ旅行セシムルトキ

四 兼務廳ノ用務ヲ以テ旅行セシムルトキ

五 所轄廳以内ノ用務ヲ以テ旅行セシムルトキ

第三十七條 前金渡トシテ支給スル旅費ハ支出ノ日ヲ以テ會計年度ヲ區分シ其他ノ場合ニ於テ旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ日當宿泊料車馬料及食卓料ハ合計年度分界ノ日ニ依リ區分シ汽車料船舶料ト其乗車券若ハ乗船券ニ記載ノ地ニ到達マテ前年度ノ所属トス

第三十八條 本則中下士以下トハ下士卒及艦團部隊砲術練習所水雷術練習場ニ属スル

從僕刺烹刺夫給仕ヲ云ヒ家族トハ父母妻子ヲ云フ

第三十九條 准士官以上及文官ニシテ家族ヲ移轉シ第七條ノ旅費定額ヲ受ケントスル
 トキハ辭令受領若ハ官報エテ承知後三十日以内ニ所管長官ニ申請シ家族移轉ノ承認
 ヲ受クヘシ其承認ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ家族ヲ移轉セサルトキハ其旨ヲ速
 ニ届出テ既ニ旅費定額ヲ給シタル者ハ還納セシム但疾病若ハ忌服等ノ爲メ移轉スル
 能ハサルトキハ所管長官ニ於テ相當ノ猶豫ヲ與フルコトヲ得
 准士官以上及文官ニシテ前項ノ日限内未タ家族ヲ移轉セスシテ更ニ轉職轉勤シ若ハ
 待命休職停職ト爲リタルトキハ前項ノ規定ニ依リ前勤務廳所在地ヨリ新任地若ハ東
 京又ハ指定地マテ旅費定額ヲ支給スルコトヲ得

附則

第四十條 此規則ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

軍	人	大	將	中少將	同	上長官	候補生	准士官	生徒、學	卒	下士						
等	級	一	等	二	等	三	等	四	等	五	等	六	等	七	等	八	等

軍 屬 高等官 同 補判任官 判任官見 雇 員 備 人
 備考 學生ハ軍醫學生、藥劑學生、主計學生、造船學生、造兵學生ヲ云フ
 第二表

旅費等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等
日當	二圓五十錢	一圓五十錢	一圓	七十五錢	五十錢	四十錢	三十五錢	二十五錢
宿泊料	三圓	二圓	一圓	七十五錢	五十錢	四十錢	三十五錢	二十五錢
汽車料 每一哩	七錢	六錢	五錢	四錢	三錢	二錢	一錢	一錢
船船料 每一海里	七錢	六錢	五錢	四錢	三錢	二錢	一錢	一錢
車馬料 每一里	三十五錢	三十錢	二十錢	二十錢	十五錢	十二錢	十二錢	十二錢
食卓料	一圓七十錢	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓	九十錢	六十錢	四十五錢	四十錢
旅費等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	六等	六等
汽車料 每一哩	九錢	八錢	七錢	七錢	七錢	六錢	六錢	六錢

海軍内國旅費規則

船 舶 料 每海里 九 錢

車 馬 料 每里 五十 錢

備考 日當宿泊料食卓料ハ第二表ノ定額ヲ給ス

第四表

船 舶 料 每海里	九 錢
車 馬 料 每里	五十 錢
旅 費 等 級 一	等
旅 費 等 級 二	等
旅 費 等 級 三	等
旅 費 等 級 四	等
旅 費 等 級 五	等
旅 費 等 級 六	等
旅 費 等 級 七	等
旅 費 等 級 八	等

第五表

雜 費	三十五圓
雜 費	三十五圓
雜 費	三十圓
雜 費	三十圓
雜 費	十五圓
雜 費	十五圓

旅 費 等 級 一 等 二 等 三 等 四 等 五 等 六 等 七 等 八 等

日 當	二 圓 一 圓 二十
宿 泊 料	二 圓 五 十 一 圓 八 十 一 圓 二 十 一
宿 泊 料	一 圓 五 十 一 圓 八 十 一 圓 二 十 一
宿 泊 料	一 圓 八 十 錢 六 十 錢 四 十 錢 三 十 錢 二 十 錢 十 錢 十 錢 十 錢

第六表

流 車 料 每哩	四 錢
船 舶 料 每海里	四 錢
車 馬 料 每里	二十 錢
食 卓 料	一 圓 二 十 一
食 卓 料	一 圓 八 十 錢 六 十 錢 五 十 錢 四 十 錢 三 十 錢 二 十 錢 十 錢 八 錢 八 錢

旅 費 等 級 一、二 等 三、四 等 五 等 六 等 七、八 等

日 當	七 十 五 錢
宿 泊 料	一 圓 六 十 錢 四 十 錢 三 十 錢 十 五 錢 十 五 錢
流 車 料 每哩	四 錢
船 舶 料 每海里	四 錢
車 馬 料 每里	二十 錢
食 卓 料	五 十 錢 三 十 錢 二 十 五 錢 十 五 錢 十 五 錢

海軍內國旅費規則

第七表

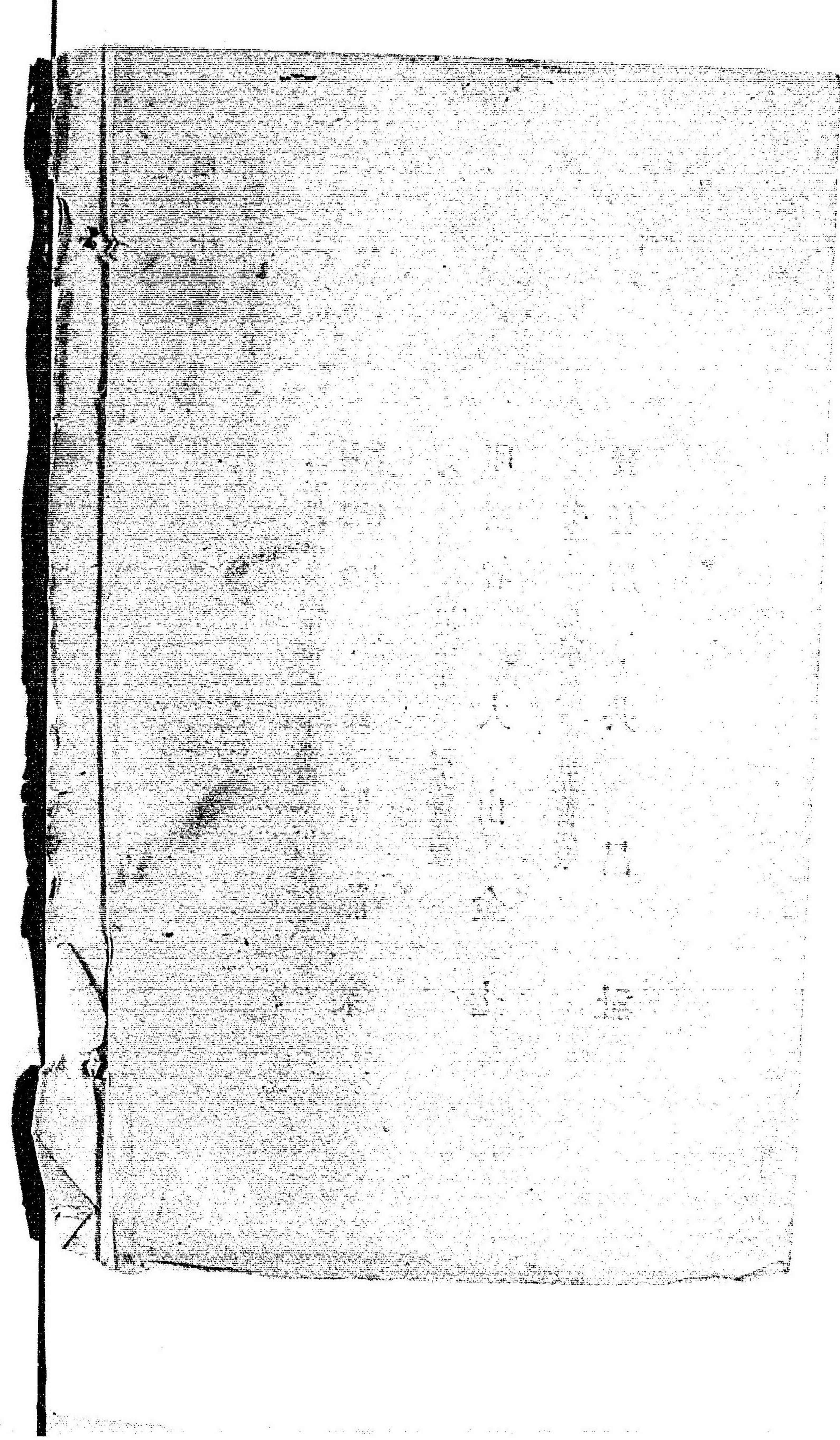
地名	官等	東京		橫須賀		舞鶴		吳		佐世保	
		日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員
品川	下士		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇
品川	卒		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇
館山	下士		一七〇		一七〇		一七〇		一七〇		一七〇
館山	卒		一七〇		一七〇		一七〇		一七〇		一七〇
橫濱	下士		一六〇		一六〇		一六〇		一六〇		一六〇
橫濱	卒		一六〇		一六〇		一六〇		一六〇		一六〇
長浦	下士		一三〇		一三〇		一三〇		一三〇		一三〇
長浦	卒		一三〇		一三〇		一三〇		一三〇		一三〇
清水	下士		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇
清水	卒		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇		二〇〇
武豐	下士		四三〇		四三〇		四三〇		四三〇		四三〇
武豐	卒		四三〇		四三〇		四三〇		四三〇		四三〇
宮津	下士		二八〇		二八〇		二八〇		二八〇		二八〇
宮津	卒		二八〇		二八〇		二八〇		二八〇		二八〇
津	下士		七二〇		七二〇		七二〇		七二〇		七二〇
津	卒		七二〇		七二〇		七二〇		七二〇		七二〇
鳥羽	下士		八三〇		八三〇		八三〇		八三〇		八三〇
鳥羽	卒		八三〇		八三〇		八三〇		八三〇		八三〇

海軍内國旅費規則

地名	官等	東京		橫須賀		舞鶴		吳		佐世保	
		日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員	日數泊數	金員
神戶	下士		八八〇		八八〇		八八〇		八八〇		八八〇
神戶	卒		八八〇		八八〇		八八〇		八八〇		八八〇
兵庫	下士		六六〇		六六〇		六六〇		六六〇		六六〇
兵庫	卒		六六〇		六六〇		六六〇		六六〇		六六〇
宇品	下士		一三五〇		一三五〇		一三五〇		一三五〇		一三五〇
宇品	卒		一三五〇		一三五〇		一三五〇		一三五〇		一三五〇
徳山	下士		一五七〇		一五七〇		一五七〇		一五七〇		一五七〇
徳山	卒		一五七〇		一五七〇		一五七〇		一五七〇		一五七〇
三田尻	下士		一六九〇		一六九〇		一六九〇		一六九〇		一六九〇
三田尻	卒		一六九〇		一六九〇		一六九〇		一六九〇		一六九〇
多度津	下士		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇
多度津	卒		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇		一三〇〇
三津濱	下士		一三七〇		一三七〇		一三七〇		一三七〇		一三七〇
三津濱	卒		一三七〇		一三七〇		一三七〇		一三七〇		一三七〇
江田島	下士		一三八〇		一三八〇		一三八〇		一三八〇		一三八〇
江田島	卒		一三八〇		一三八〇		一三八〇		一三八〇		一三八〇
馬關	下士		一七三〇		一七三〇		一七三〇		一七三〇		一七三〇
馬關	卒		一七三〇		一七三〇		一七三〇		一七三〇		一七三〇
門司	下士		二二九〇		二二九〇		二二九〇		二二九〇		二二九〇
門司	卒		二二九〇		二二九〇		二二九〇		二二九〇		二二九〇
博多	下士		一八一〇		一八一〇		一八一〇		一八一〇		一八一〇
博多	卒		一八一〇		一八一〇		一八一〇		一八一〇		一八一〇
郷ノ浦	下士		一九七〇		一九七〇		一九七〇		一九七〇		一九七〇
郷ノ浦	卒		一九七〇		一九七〇		一九七〇		一九七〇		一九七〇
唐津	下士		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇
唐津	卒		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇		二〇五〇

馬公	敦賀	直江津	萩ノ濱	大湊	青森	函館	室蘭	小樽	根室	佐世保
卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士
四	二	一	二	四	三	三	四	五	六	五
一	一	一	一	一	二	二	二	三	二	三
五六〇	三六五〇	三〇〇〇	四六四〇	一〇〇〇	一三〇〇	八五〇〇	一五七〇	一四四〇	二二六〇	一九九〇
一	二	二	二	三	三	三	四	五	六	五
一	一	一	一	一	二	二	二	三	二	三
五九〇	三六〇〇	三〇〇〇	七三〇〇	九三〇〇	九二〇〇	一一一〇	一六六〇	二〇三〇	二〇五〇	一九五〇
一	三	四	五	七	六	六	七	八	九	四
一	二	三	四	六	五	五	五	五	五	三
四七六〇	三三八〇	一六六〇	一八六〇	二五四〇	一九三〇	二五三〇	二八〇〇	三二〇〇	三二九〇	二四六〇
二	二	三	四	五	六	七	七	八	九	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二八四〇	七八〇	五九〇	一三九〇	一五七〇	二〇八〇	二七五〇	二七五〇	三二〇〇	三七一〇	二六八〇
二	二	三	四	六	六	五	五	五	五	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四一四〇	二八四〇	一八四〇	二〇八〇	二七五〇	一九四〇	二七五〇	三〇二〇	三三二〇	三七一〇	二六八〇
九	三	四	五	六	七	八	八	八	九	六
一	二	三	四	四	五	六	六	六	六	一
三五二〇	一三六〇	一〇三〇	一八二〇	二五三〇	二五〇	三三〇	三六〇	三九〇	四二〇	三一四〇

伊万里	呼子	平戸	五島	長崎	巖原	竹敷	鹿兒島	基隆	臺北	淡水
卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士	卒下士
五	五	五	五	五	五	五	六	三	三	三
三	四	三	四	四	三	三	四	二	二	一
一九八〇	二〇八〇	二〇〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二〇四〇	二〇八〇	二四〇〇	二七七〇	四一九〇	二九五〇
五	五	四	五	五	五	五	六	二	二	二
三	四	三	三	三	三	三	四	一	一	一
一九四〇	二〇八〇	一九〇〇	二二〇〇	二〇三〇	二〇一〇	二〇五〇	二七六〇	二七二〇	四〇四〇	二九二〇
四	五	四	五	四	四	五	五	二	二	二
三	三	二	三	三	二	三	三	一	一	一
一四四〇	一五三〇	一四三〇	二二〇〇	一五三〇	一四九〇	一五二〇	一八二〇	二三四〇	二八四〇	二五六〇
二	三	二	三	二	二	三	三	九	九	九
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一四九〇	一五三〇	一四三〇	二二〇〇	一五三〇	一四九〇	一五二〇	一八二〇	二三四〇	二八四〇	二五六〇
二	三	二	三	二	二	三	三	九	九	九
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六一〇	七四〇	五六〇	九六〇	七七〇	六七〇	七四〇	一〇三〇	一九六〇	二九五〇	二二四〇
一	一	一	一	一	一	一	二	七	七	七
八〇	一七〇	一三〇	二八〇	二二〇	二七〇	二九〇	四六〇	一五四〇	二二九〇	一七四〇



216
471

原龍案編集

(定價郵稅共金七拾五錢)

現行
軍事法規

第一版
全

發行所

共昌社

三重縣津市高町

038971-001-3

特15-182

現行軍事法規

篠原 龍案 / 編

M34, 35

BCC-0195

